

会長のページ	新研修医に期待する	河野 雅行	3
日州医談	健康運動看護師（健康スポーツナース）について	河原 勝博	4
退任挨拶	Lush Life	石田 康	6
	宮崎大学医学部教授退任挨拶	竹島 秀雄	7
就任挨拶	宮崎大学医学部教授就任挨拶	佐藤勇一郎	8
随 筆	延岡市の道の駅	石橋 俊秀	10
特 集	宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業 第6回 50周年記念 医学部生とともに（2）	東 美菜子	12
寄 稿	50年前の記憶と宮医大学生時代の思い出ばろばろ 2024年開講50周年を迎え今昔（後編）	七島 篤志	14
	宮崎看護専門学校の課程変更について	白尾 一定	18
エコー・リレー（586）		塩田 充恵, 楠元 規生	21
メディアの目	フィッティング難民	阿曾 吉宏	24
身近なお困りごと相談室		高山 桂	25
宮崎大学医学部だより	宮崎大学医学部附属病院患者支援センター	鈴木 斎王	28
専門分科医会だより	皮膚科医会	西田 隆昭	29
診療メモ	遺伝学的検査と遺伝カウンセリング	土井宏太郎	70
宮大医学部学生のページ	令和6年度新歓委員会からご報告	岩名凜太郎	72

あなたできますか？（令和5年度医師国家試験問題より）	20
叙勲・祝賀	22
宮崎県感染症発生動向	26
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会	30
九州医師会連合会第414回常任委員会	32
日医インターネットニュースから	34
医師国保組合だより	36
会員の異動・変更報告	38
理 事 会 日 誌	48
ベストセラー	51
県 医 の 動 き	52
ドクターバンク情報	53
行 事 予 定	59
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	61
あ と が き	80

公 示	宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿	33
お知らせ	「はまゆう随筆」原稿募集	9
	令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	17
	地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	46
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	47
	日州医事へのご意見・ご感想	57
	郡市医師会への送付文書	74
	医療事故調査制度相談窓口	77
	医療勤務環境改善支援センター	78
	日州医事原稿募集のお知らせ	79

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

紫陽花

ローカル線の風景を彩るさまざまな植物たち。季節ごとに違った景色を見せてくれます。新緑が終わりを迎えて梅雨に入ると、沿線にはアジサイが色とりどりの花を咲かせます。きれいに手入れされたアジサイの前でカメラを構えていると、黄色いカラーをまとった日南線のディーゼルカーがやってきました。

宮崎市 木佐貫 冬 星 (会員家族)

会長のページ

新研修医に期待する

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

本年度、宮崎県での初期臨床研修医は48名でした。昨年マッチングの時点では47名で、その後増減があり48名に落ち着きました。60名前後で推移していたものが1昨年から減少傾向にあります。それだけに一人ひとりにかける期待度は大きなものがあります。また初期研修を終えた専門研修開始者は46名で、初期研修時の51名から増減がありこちらも少し減りました。コロナ禍の影響で県内残留が増えて喜んでいたところ、残念ながら一時的な現象であったようです。若者の都会志向は変わらずにコロナ禍が一段落したために元に戻ったのでしょうか。

先日、初期研修医の皆様と懇談する機会がありました。全員が希望に燃えており、宮崎県でしっかり研修して県民のために尽くそうとの意欲が感じられ頼もしく思われました。地方在住では学会参加や、他からの刺激が少なくハンディがあるといわれます。確かに移動などの面からは時間的なロスがありますが、以前とは違い情報伝達手段も比べ物にならないほど改善され、研修や研究の面では地方でもそれほどのハンディとは思えません。立派な研究発表や、実績を挙げている地域も多々あります。

宮崎県では県行政、宮崎大学、関連医療機関、県医師会などが一体となって「オールみやざき」で、臨床研修の充実と研修医確保、ならびにIターン、Uターンを含めた医師確保に取り組んでいます。各方面の努力により卒後研修・教育は効果を発揮しておりますが、若手医師を県内に留めるのに重要なことは、せっかく宮崎に残った若手医師が研修修了後も充分活躍できる職場ならびに家族も含めて生活しやすい環境を作ることが私たち県民の務めです。いわゆる受け皿造りが重要で、この面を充実しないと医師は定住しません。最近の研修医数減少は一時的な傾向であって来年からは暫時増加することを期待します。しかし今後も減少が続くようであれば地域枠や奨学金制度を拡充するなどの、更に積極的な方向へと舵を切る必要があるのではないのでしょうか。

話は変わりますが、現役の5年次学生との懇談も毎年恒例行事となっており、先日その会合がありました。同学年136名中（この学年は諸理由により定員よりも多いそうです）約7割の参加があり、参加全学生と話をしたところ、参加者の8割以上が卒業後は宮崎に残るとの希望でした。そうであれば相当数の県内研修医が期待され、心強く感じました。もっとも、彼らが卒業して研修医になる2年後の段階では事情が異なっているかもしれません。今後も彼らの活躍をサポートするために魅力ある環境づくりの工夫・努力が必要と思われれます。

(令和6年5月14日)

日州医談



健康運動看護師（健康スポーツナース）について

宮崎県医師会 理事 かわ はら かつ ひろ
河 原 勝 博

皆さん、健康運動看護師（以下、健康スポーツナース）という資格をご存じでしょうか。近年、スポーツイベントなどにおける安全に対する意識の向上を背景に医療従事者の帯同要請が多くなってきています。通常私たち医療者は病院や診療所などで必要な医療資源とスタッフが配置された中で仕事をしています。しかし、スポーツ現場では医療資源や人手が限られており、その中でその場に応じた判断や対応が求められます。このため、医師においては日本スポーツ協会、日本医師会、日本整形外科学会などがスポーツドクターの資格として一定の講習などを行い資格認定が行われています。しかし大会などに帯同を依頼される看護師に対してはこれまでこのような養成や資格認定がありませんでした。

健康スポーツナースは宮崎大学医学部整形外科 帖佐悦男教授（現病院長）が研究代表を務める特別教育研究事業「スポーツ外傷、障害の病

態解明－スポーツメディカルサポートシステムの構築（2007年から5か年）」の一環として「健康スポーツナース」を提唱されたことが始まりになります。目的は「健全な発育・発達」を意図した運動機能評価、「健康づくり」としての運動指導、「健康回復」への看護介入やスポーツイベントへの同行・支援を行うことでした。その後、2010年2月に宮崎大学医学部看護学科、附属病院看護部や宮崎県看護協会が中心となり、宮崎大学医学部看護学科 鶴田来美教授（当時）を代表とした「日本健康運動看護学会」が設立され、同年10月に第1回の学会ならびに講習会が開催されました。健康スポーツナースの講習は年5回程度行われ、理論・救急・整形外科一般などの座学、応急処置・テーピングなどの実技があり、最後に試験が行われ認定されます（図1）。2011年に24名の健康スポーツナースが誕生しました。当初は宮崎県内に勤務する看護師のみの認定でしたが、その後は宮崎県

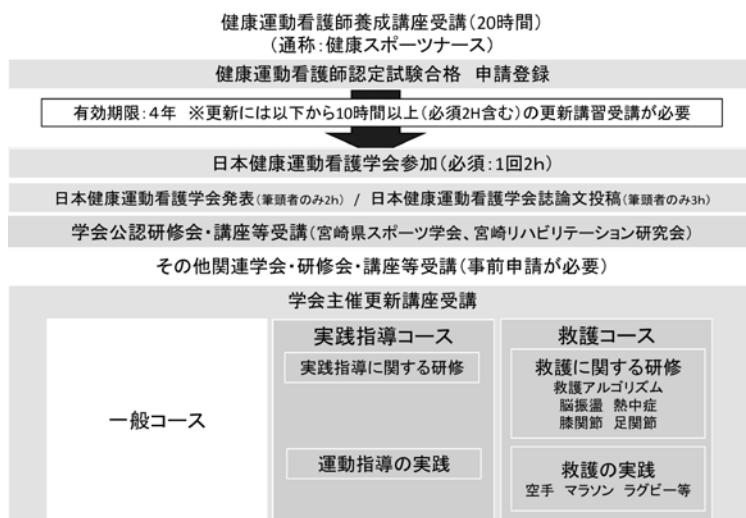


図1 健康スポーツナースの養成と認定及び更新に関する教育プログラム

外の会員が増加し2024年2月現在、会員は約330名、認定取得者187名となっています(図2)。

健康スポーツナースを志す方々の動機はさまざまで、元々本人がスポーツを行っていた方、子どものスポーツ活動でのサポートがしたい方、スポーツ選手を診療する医療機関に勤務されている方などがおられます。私も学会設立当初宮崎大学整形外科で勤務していた関係から講習の講師として係わり現在も続けております。毎回講義して思うのですが、全国から研修に来られている受講者の皆さんは非常に熱心です。そして講義の後には多くの質問が寄せられ、質問内容も具体的な質問ばかりでこちらもつい時間を忘れて対応してしまうくらいです。

健康スポーツナースの認定取得後の活動については勤務する施設に留まらずに、子どもたちのスポーツクラブ、トライアスロン大会、マラソン大会、ラグビー大会などの救護活動、アスリートのメディカルサポート、子どもや高齢者などの運動教室の開催などさまざまな場所での活動が行われています。また、宮崎においては2027年に国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、健康スポーツナースのニーズがますます高くなると考えられます。そのためには実践力強化が必要であり、講習も随時行われています(図3)。



図3 実践力強化のための認定更新講座

今後、運動やスポーツ分野において、より専門的な知識を取得した健康スポーツナースが運動やスポーツ現場により多く関わり、各メディカルスタッフと連携することにより、生活習慣病、スポーツ外傷・障害、ロコモティブシンドロームの予防に貢献し、その結果として健康寿命の延伸につながることを期待されています。

私のクリニックの看護師もスポーツナースの認定を受け、ラグビー、車いすバスケ、マラソンなどへのスポーツイベントに参加しました。自身のクリニックと違う環境やスタッフとの活動は大変な面もあるようですが良い刺激となっているようで、本来のクリニック業務への良い効果が出ているように感じております。

最後に、皆様の施設でご興味のある看護師がいましたら「健康スポーツナース」の受講はいかがでしょうか？

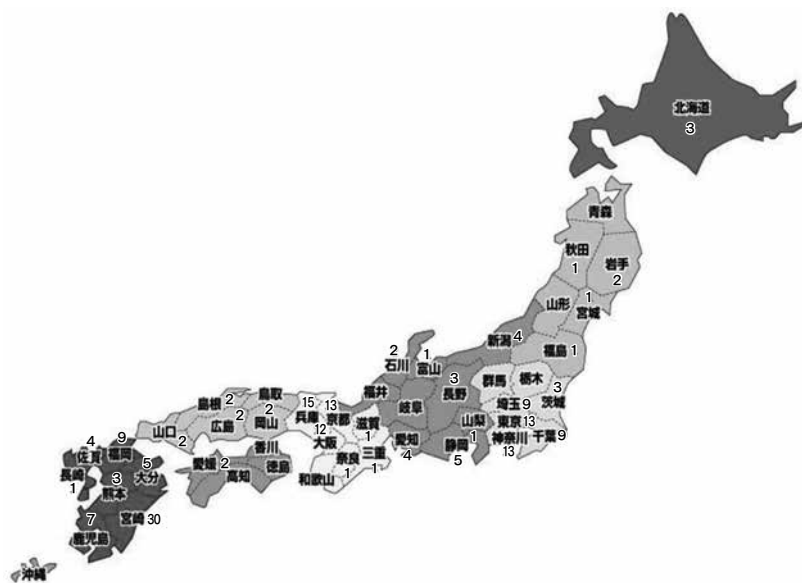


図2 健康スポーツナースの認定取得者数
(2024.2月現在187名)

退任挨拶



Lush Life

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野

いし だ やすし
石 田 康

「あんた、女はおるね？」

この台詞は、私が大分医科大学を卒業する直前に郷里にあった宮崎医科大学精神科を見学目的で訪れた際、初代教授の池田暉親先生から最初にかけていただいた言葉です。昭和60年（1985年）の春でした。あれから39年経ちました。

入局当時、大学の精神科に在籍していた先輩方は、教授の池田先生、助教授の三山吉夫先生、講師の鶴紀子先生、二宮英彰先生、助手/医員の福岡寛先生、二宮嘉正先生、古郷博先生、阿多京子先生、荒川長巳先生、松村和典先生、大野理先生、川添伸一先生、心理士の藤原正博先生でした。当時、宮崎医科大学の卒業生は精神科の医局員全体の3割程度で、いまだ黎明期の教室でした。昭和から平成初めごろに宮医大の学生だった先生方は記憶しているかもしれませんが、精神科の臨床実習は、三山先生による神経病理実習、鶴先生による脳生理実習に加え、池田教授によるビデオ作成課題がありました。ポリクリ（現在のクリニカルクラークシップ）の学生さんは、2週間の実習期間中にオリジナルのビデオをシナリオ作成、撮影、編集し、最終日にプレゼンする必要がありました。研修医だった私と同期入局の鮫島哲朗先生（現 鮫島病院理事長・院長）の勤務時間の多くは、学生さんのビデオ作成のサポート、一般向けの精神科診療案内動画や患者さんのインタビュービデオの作成に充てられました。たまに、心理検査をマークシートリーダーを使って判定するためのBASICプログラムのデバッグ作業を先輩から依頼されると、「珍しく精神科医らしい仕事だ!」と、少し充実感を覚えました。今となっては笑い話ですが、当時は真剣に「こんなことやってて、まともな精神科医になれるんやらか?」と鮫島先生と悩んだこともありました。一瞬のことでしたが（苦笑）。

2002年（平成14年）に教授選考会で運よく教

授候補に推薦していただいた後、教授退任後に副学長を務められていた三山先生から、「辞令交付まではおとなしくしとくように」と、腰も口も軽い私に対して的確なアドバイスをいただいたことを覚えています。同年11月に教授を拝命した際には、光栄なことに宮崎医科大学最後の学長になられた松尾壽之先生から清武で辞令交付を受けました。教授に就任した翌年には多くの単科医科大学が統合され、宮崎医科大学も宮崎大学医学部になりました。当時、なんとなく雲行きの怪しさを感じていた教授会の構成員は私だけではなかったと思います。ただ、国策としての大学統合の方針に抗うことは難しかったことと想像します。統合の翌年（2004年）には、宮崎大学を含む全国の国立大学が法人化されました。

医学教育に関する沿革としては、大学が法人化された2004年に必修医師卒後臨床研修制度が始まりました。その後2018年度には、現在まで続く新専門医制度がスタートしました。これら一連の医学教育改革により、国が目論んでいた大学医学部の医局制度の解体は、特に地方大学では成功したように思います。ただし医師の偏在化に拍車がかかり、地方の医療崩壊を招いた現状に関しては予想されていたかどうか怪しいものです。少なくとも本邦の医学研究のポテンシャル低下を招いたことに関しては、前記した一連の医学教育改革を推進してきた方々の責任は重大と考えます。

以上、退任のご挨拶を悪態で締めるのも問題があると考え、おすすめのジャズナンバーを1曲紹介させていただきます。Stan Getz Quartetが1972年のモントルー・ジャズ・フェスティバルで演奏したLush Life（豊かな人生）。特にTony Williamsのブラシワーク、痺れます。

<https://www.youtube.com/watch?v=eL6kFxo6tVY>

退任挨拶



宮崎大学医学部教授退任挨拶

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野

たけ しま ひで お
竹 島 秀 雄

本年3月末日をもって無事宮崎大学を定年退職いたしました。在任中、宮崎県医師会会員の皆様には公私にわたって大変お世話になりました。この場をお借りして篤くお礼申し上げます。

「光陰矢の如し」と言いますが、今はあっという間に18年が飛び去ってしまったかのような感覚がします。老人性健忘により失念していることもたくさんあるとは思いますが、在任期間中個人的に印象深かったことを書き留めておきたいと思います。

- 1 就任当初は私もまだ46歳と若く単身赴任でもあり、若手の先生たちと連日明け方まで飲み明かし、帰宅して風呂場の前で行き倒れたことがたびたびありました。その月のガス代が突出して高くなりました。これを心配して、家内が予定を切り上げ宮崎に引っ越してくれました。また、痛飲したあとで尿管結石の発作で苦しんだこと…。更にESWL*でそれ以上の苦しみを経験したこと…などなど。
- 2 脳外科の診療面では多くの劇的な進歩がありました。Neuronavigationの導入に始まり、神経内視鏡手術の導入、覚醒下手術や神経モニタリングの導入、脳腫瘍の遺伝子診断を先進医療として全国に先駆けて確立したこと、光線力学診断および治療（PDD/PDT）の開始や外視鏡手術の導入・普及、新規血管内治療デバイスの導入など、時代の流れに遅れることなく時代の先端を行く脳外科治療を推し進めることができたと思います。ともに頑張ってくれた医局員皆の助力に感謝しますとともに、私たちを信じて症例をご紹介いただきました医師会員の皆様に心より感謝申し上げます。
- 3 学術的には4つの全国学会を主催することができました（第31回日本脳腫瘍学会、第20回日本脳神経減圧術学会、第39回日本脳腫瘍病理学会、第23回日本分子脳神経外科学会）。

自分の専門領域の学会をほぼ網羅することができました。開催にあたりご支援いただき誠にありがとうございました。

- 4 脳卒中協会や開講記念に際して、市民公開講座を数多く（ほぼ年1回）開催し、県内を限なく回ることができました。その中で人口の少ないはずの郡部の方が宮崎市より参加人員が多いという逆転現象も経験しました。各関連施設がそれだけ地域の皆様に頼りにされていることの現れだと思います。
- 5 2017年から2022年までの6年間、医師国家試験の出題委員に任命され厚労省の一室で缶詰状態で問題を作成しました。よい経験でした。
- 6 趣味のゴルフも一時はハンデ7までいったのですが、五十肩の発症とともに急降下しました。
- 7 全国脳神経外科野球大会で九州予選を勝ち抜き2回、念願の全国大会に出場することができました（仙台、岡山）。

とりわけ最も心に残っていることは、多くの若手の先生が入局してくれ、そしてその中から現在の教室の屋台骨を支えてくれる人材が順調に育ってくれたことです。手術や診療の考え方、研究など私なりに積み重ねてきた考えやマインドを可能な限りバトンタッチできたと思いますが、その1つ1つを継承し・進歩させてくれることに喜びと感謝の気持ちで一杯です。退任後は故郷の熊本に戻り、「桜十字病院」という630床の民間病院に勤務しております。ただ、今後も宮崎の医療に関わることになりそうですので、その折はご指導よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈りして、教授退任の挨拶文とさせていただきます。

* ESWL … 体外衝撃波結石破砕術

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部 病理学講座 腫瘍形態病態学分野 教授 さ とう ゆういちろう 佐 藤 勇一郎

宮崎県医師会の先生方におかれましてはますます清栄のこととお喜び申し上げます。

2024年3月1日より宮崎大学医学部 病理学講座 腫瘍形態病態学分野（旧第2病理）の教授を拝命いたしました佐藤勇一郎と申します。就任にあたりご挨拶申し上げます。

私は平成3年（1991年）に宮崎医科大学を卒業しました。学生時代は剣道部に所属し、部活を中心に生活していました。病理学の講義は時々出席していましたが、学園祭で教授のものまねを見て、似ているのかどうかわからなかった記憶があります。大学卒業後、1年だけ脳神経外科で研修を行い、その後大学院（病理学講座、旧第1病理）に進みました。鍋島一樹先生（元福岡大学病理学教授）が脳外科とのカンファレンスで病理所見を説明されており、病理の大学院を決めました。ただ土曜日に鍋島先生が所属されていた旧2病理を訪ねたのですが、たまたまどなたもいらっしゃらず、電気のついていた1病理の扉を開けたため、1病理に入ることになりました。旧1病理の住吉昭信教授から病理診断の基礎を教えてくださいましたが、なかなか厳しいものでした。先に書いた大学祭で同級生がものまねをされていた先生ですが、本当の厳しさは病理学講座に来て初めて知りました。しばらくは1病理に来たことを後悔していましたが、今私が病理医としてやっていけるのは、恩師住吉先生のおかげだと思っています。大学院時代は培養平滑筋細胞を使って研究し、浅田祐士郎先生（元1病理学教授・現宮崎市郡医師会病院）、丸塚浩助先生（現県立宮崎病院病理部長）、更に2病理の鍋島先生、片岡寛章

先生（元2病理教授・現宮崎大学理事）からも指導していただきました。大学院卒業後は県立宮崎病院で、林透先生（現さがら宮崎病理部長）のもとで多くの症例を経験することができ、ここでも多くの臨床とカンファレンスに参加させていただきました。2003年から2005年に米国に留学させていただき、前半はスクリプス研究所で、後半はカリフォルニア州立サンディエゴ校で、故 Benirschke先生のもと、胎盤病理を勉強して帰国しました。胎盤病理は私の専門領域の一つになっています。帰国後10年間宮崎大学医学部附属病院の病理部で勤務し、今回病理学講座の教授に就任しました。

これまで臨床所見と病理像からの臨床病理を中心に研究してきましたが、今後はこれまで2病理が行ってきた基礎的な検討も加えていきたいと思っています。いろいろな臨床科の先生方と協力しながら、臨床に役立つ研究を行えればと考えています。教育に関しては、病理は病気を学ぶ最初の講義・学問となりますので、まずは疾患の概念・メカニズムを理解し、その後最低限の用語などを覚えてもらいたいと思います。病理は難しく試験も厳しいという声を学生からも聞きますので、少しでも病理の面白さを知ってもらい、病理好きの卒業生を増やしていきたいと考えています。病理診断に関しては、1病理の先生方、病理部のスタッフと協力させていただきながら行っていく所存です。

最後に、皆様に信頼していただく病理医を一人でも多く輩出していくことも大きな目標です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7, 8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 短歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

字 数 800字程度 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 令和6年6月21日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外 (マスコミ・行政・図書館など) にも配布しています。

留意事項

- ◎ 著作権をはじめ, 法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ◎ 誹謗中傷や差別など, 他の団体, 個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ◎ 布教や政治活動など, 特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ◎ 公序良俗に反し, 法律で禁止されている行為など, その他不適切と判断されるもの
- ◎ 事実誤認, 難解, 過度な宣伝広告など

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法 (FAX, 郵便など) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

随 筆

延岡市の道の駅

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

道の駅の存在は以前から知っていた。道の駅制度30周年記念の「九州・沖縄 道の駅 2023年版 公式 スタンプブック」を見つけてからは、系統的に道の駅を探し、積極的に巡ってスタンプを集めている。道の駅の歴史にも興味が湧いたので調べてみた。

道の駅とは、地方自治体と道路管理者が連携して設置した休憩施設と地域振興施設などが一体となった道路施設だ。1991年（平成3年）に実験的に山口県、岐阜県と栃木県の3か所から始まり、2021年で30年を迎えた。2007年に東京都八王子市に開設されたことにより、47都道府県すべてに道の駅が設置された。2023年2月28日時点で全国の登録数は1,204か所と増加傾向にある。しかし、すでに廃駅になった所が4か所以上あり、赤字経営の所も多数ある。理由としては、施設の老朽化、周辺の大規模商業施設の開業や人口減少などにより集客の当てが外れて閉鎖されたからである。

高速道路にはサービスエリアやパーキングエリアが整備されてきたが、一般道路には自由に休憩できる施設はなかった。民間経営によるレストラン・売店はドライブインでは飲食する者しか利用できないし、24時間自由に利用できるものではない。道の駅は、一般道路にも24時間自由に利用できる休憩所が長らく求められていたことや、その休憩施設をドライバーたちのためだけでなく、その地域の文化や名所、特産物などを活用したサービスを提供し、道路利用者や地域の人々の情報交流や地域連携と活力ある地域づくりを促進し、その地域の活性化をはかりたいという双方のニーズが相まって誕生した。同時期の調査では、九州では127か所（福

岡県17、佐賀県10、長崎県11、熊本県34、宮崎県18、鹿児島県22、沖縄県10、不明5か所）だった。今後も全国で道の駅が計画されていて、令和5年10月に宮崎県日南市に道の駅「きたごう」がオープンした。

道の駅の魅力は、食の魅力がいっぱいで地元の食材を使用した土産や食事が楽しめることだ（ご当地グルメ、新鮮で多種類の食材の宝庫）。できるだけ地元で生産された土産や食べ物を優先して買うようにしている。手始めに地元延岡市の道の駅3か所を訪問した。

道の駅 北方（よっちみろ屋）：6月10日、小雨
ちょうど「ももまつり」が行われていた。戸外の南国プリンの幟が目に入った。南国プリンは3種類あったが、北方桃プリンはすでに売り切れだった。仕方なく抹茶プリンにした。「桃プリン」が駅長のイチ押し商品だ。道の駅の中では、野菜、早生桃、次郎柿、よもぎ団子、弁当やお土産だけでなくいろんな物が売り出されていた。植木、フルーツ石鯛、ラーメン、すり身、鳥の炭火焼、ソフトクリームなど。フルーツサンド（イチゴ）、ぶり天（鰯の天ぷら）、干支焼きまんじゅうとオカワカメ（1袋）を買った。オカワカメ※¹なるものは初めて聞いた。

北方や ピーチプリンに オカワカメ
フルーツサンド 十八（おはこ）ラーメン

道の駅 北川はゆま：6月10日

大勢の観光客で賑わっていた。月の塩唐揚げ、月の塩メロンパン、キノコカレーや生しらす丼は珍しい。ひむか定食（宮崎のソウルフード冷や汁とチキン南蛮がセット）、生しらす丼、

北川のそば、清流北川で育ったうなぎのうな重や鮎の塩焼きも人気。鮎の塩焼きを食べてみたら、塩味が効いて美味しかった。「のべがくプリン」が駅長のイチ押し商品だ。「のべがくプリンソフト」や「のべおかジンジャーエール」もお薦めだ。のべがくとは、延岡学園調理科の学生さんのことで、製品は彼らたちと共同開発したもの。

はまゆうで 鮎の塩焼き 食べ足れば
もっと欲しいや 生しらす井

道の駅 北浦：6月10日

海産物と月の塩^{※2}が特産品だ。道の駅で珍しい羊羹（塩ようかん、からいも羊羹）を買った。月の塩を使った商品（月の塩ようかん、月の塩フルムーン、月の塩ダイヤモンド、月の塩塩飴、月の塩ソフトなど）も豊富だ。「月の塩メレンゲ」が駅長のイチ押し商品だ。

カンカン焼を提供していたので注文した。カンカン焼きとは、縦20cm・横30cm・高さ20cmのカンカンに食材と塩水を入れてガスコンロで15分ほど蒸す料理だ。今回の食材は岩ガキ6個とヒオウギ貝6個（合計2,780円）を選んだ。他の時期にはサザエも選べる。合計金額が1,500円以上ならカンカン焼きセットが無料で借りられる。後で伝票を確かめると牡蛎が1kgで2,000円（880gだったので1,760円）、ヒオウギ貝は1枚170円となっていた。牡蛎の蓋が

なかなか開かなくて奮闘した。ちょっとした塩味で量はやや多過ぎた。半分くらいがちょうどよかったかもしれない。

海鮮館の入り口には大きな魚（リュウグウノツカイ＝竜宮の使い）と大きなカニ（タカアシガニ）が展示してあった。えびが10匹のった「えび10井=1,000円」も食べてみた。まずは、ネーミングが面白い！えびは6匹ごろまでは美味しかった。その後は満腹で食べきれなかった。海鮮ちらしが1,000円や海鮮丼が1,500円となっていた。北浦井や海のお宝井もお薦めだ。

道の駅 北浦に立つ 月の塩
カンカン焼きに エビ10井さ

<用語の説明>

※1 オカワカメ

オカワカメとは、陸で育つツル性の植物のこと。「わかめ」と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、海中でユラユラ揺れている海藻。見た目はどちらも緑色の葉で少し似ている。正式な名称は「アカザカズラ」といい、別名「雲南百薬^{ナンヒャクヤク}」とも呼ばれる、長寿の薬草として中国から伝わった食材である。そんな「オカワカメ」は非常に栄養価が高いことがわかっており、今注目を浴び始めている。

※2 月の塩

昔ながらの製法で作られた塩の製品名。



写真1 カンカン焼き



写真2 えび10井

特 集

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業



開講 50 周年



第6回 50周年記念 医学部生とともに(2)

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 あずま 東 みなこ 美菜子① 宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年
に寄せる医学部生の思い

～医学科5年生との座談会 part 2～

病院実習中の医学科5年生4人とともに
行った座談会の内容を先月号に引き続きご紹介します。

参加してくれた医学部生（医学科5年生）

甲斐 愛理さん 金城 由歩さん
松元 亮弥さん 境 笙太郎さん



*臨床実習を行う前と臨床実習開始後で、医師
に対するイメージは変わりましたか？

- （全員）（イメージは）良くなりました。
- 患者さんがいないところでも患者さんのことをいつも考えて仕事に励んだり勉強されたり、大変努力されていると思います。
- 元々悪いイメージは持っていませんでしたが、朝からずっと熱心に頑張っていて、かつ楽しそうにされているように思います。のめりこめるものを見つけて頑張っている姿が羨ましく、自分もそのような進路選択をしたいです。

*「働き方改革」をどう思いますか？

- （全員）基本は賛成、でもやり方は改善の余地がある気がします。
- 「若い医師を休ませよう」という目的が先だって、かえって上級医の業務負担が増えていて、とも聞きます。今後現場の状況をみながら制度を整えていくべきではないでしょうか。
- 医師が多い都会は良いかもしれないけど、医師が少ない地方では無理があるので、全国一律の制度で進めることは難しい気がします。

***これからの宮崎の医療について考えることは何ですか？**

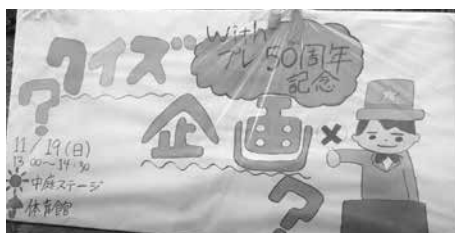
- プライマリケアをする医師は各地域に不可欠だと思います。
- 地域特有の社会背景があるので、その地域のことをよく知っている医師が地域ごとに配置されることは必要だと思います。患者さんご家族も安心だと思います。
- 地域ごとに医療圏として完結したほうが良いと思いますが、専門性も考慮した医療の集約化もある程度は必要になってくるので、ジェネラリストとスペシャリストの役割を分けるべきだと思います。
- より高度な専門性を考えて医療の機能のある程度集約化する場合は、患者搬送など交通手段に関する整備が必要で、患者さんを安

全にすばやく搬送するシステム構築が求められると思います。

- 患者さんを搬送するかどうかの判断には重症度の評価が重要で、そのために各地域に総合診療医が配置されていることは必要だと思います。

② 宮崎大学 学園祭「清花祭」

2023年11月18, 19日に開催された宮崎大学学園祭「清花祭」では、宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年にちなんで、過去の学園祭の様子を紹介したパネル展示や、プレ50周年記念のクイズ大会などが開催されました。クイズ大会では多くの講座の先生方が、学生とともに50周年に関連するクイズに挑戦されました。



クイズ参加者

菱川先生、桂木先生、澤口先生、西山先生、大田先生、湯川先生、田上先生、金岡先生

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学
開講50周年記念事業ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/50thanniversary/>

記念事業へのご寄付に、なにとぞ協力お願い申し上げます。



開講50周年記念事業
ホームページはこちら

寄 稿

50年前の記憶と宮医大学生時代の思い出ぼろぼろ
2024年開講50周年を迎え今昔（後編）宮崎大学医学部 外科学講座 肝胆膵外科学分野 教授 ^{なな}七 ^{しま}島 ^{あつ}篤 ^し志

後編スタートの前にまずはなにとぞ、開講50周年記念にご寄付を～！

6. 卒業してから国家試験

ポリクリ2年目がついに10月に終わり、11月から12月いっぱいまでの怒涛の卒業試験本試に集中する時が来ました。そのころはもう早く国試に受かって仕事したい！とばかり願っていました。今の学生たちと同じで国試の勉強は5年生から過去問集でぼちぼち始め、時に集まり行っていましたが、不思議と何度やっても同じところで間違えるジレンマに陥りました。また、そのころ作られた国試予備校のような会社が発刊していた小さな参考書を同期と同じように眺めていましたが、このころの時期に“もう、国家試験本番までの期間が残り少ないのに何もしていない！”という焦りの気持ちに、高校の受験時代の記憶が加わってごっちゃになり、慌てふためいて目が覚める不安な夢を卒業10年間は見続けたものですが、みなさんはいかがだったでしょう。国家試験よりまず突破しなければならぬ卒業試験も20数科目の試験だったので、まずは同期が各班担当して過去問の回答と解説を作成することになりました。今考えるとこんな作業は時間の無駄でしかないのですが、担当箇所を真剣に作成した結果、やはり私の部分は人の3倍くらい分厚くなり、“ななちゃ～ん、量が多すぎてわから～ん”との評価が下りました。手書きで書く人もいて特徴的な字を書くTM君もページを多く使っていましたし、字が読めないくらい下手な字を書く首席で卒業することになるNH君は一切手だしはせず

他人にまかせていました。そんな卒業試験対策冊子の過去問集でも面白い冊子にしようと、ユーモアを交えた巻頭文には力を入れて近未来の東京を描くAKIRAの作者の別作品、“気分はもう戦争”のナンセンス作品ばりの紹介文を書き添えました。それは結構友達が喜んでくれたのですが、私が引っ越しのときに失くしてしまい、宮崎の同級生に尋ねてももう持っている人は見つからずにいます。9期生の方で持っていたら教えてください！

4年時と異なり、卒業試験では試験間隔が3日おきと余裕があり、焦りおのくことはなく順調に過ごせました。4年生時のノートなども思い出して読んでいると、そこからヤマがいくつも当たったという経験がありましたが、それを導き出すコツは試験作成者の気持ちを見抜いた勉強法でした。試験前日はやはり毎回徹夜でしたが、一つ試験が終わるとビール1本を自分にご褒美していました。全部本試合格だと思っていたのですが、公衆衛生学があることを直前に思い出して一夜漬けたものの、何も解けずに再試を受けてしまいました。ただ公衆衛生での感度、特異度などの内容は国試にも出るヤマでしたからもう一度基礎から学び直すこともでき、いい機会でした。

そんなこんなで年明けは国試勉強に集中でしたが、6年間続けていた野球などのスポーツで体を動かすことはなく、毎日部屋に閉じこもって決まったように朝昼晩の食事ホカホカ弁当屋通いでは勉強する気も起きないし、過去問はもう何度も読みつくして同じところを間違うのも大学生の勉強として馬鹿馬鹿しくなり、こん

なものは時間の無駄だと悟りました。そこでメジャーどころは教科書を読破することにその答えはあると心に決め、2か月読みまくりました。国試7日前は9～17時の勉強時間と決めた生活のリズムをとる計画としました。今もこのことを国試間際の学生にアドバイスしています。この年、我らが9期生の国家試験合格率は80%台の宮医大史上最低の成績で、これは教授会資料でも現在更新中です。当時、周りの同級生は順調に国試勉強していたと思っていましたが、卒試の再試験に2月まで追われた同級生、彼女で試験に集中できなかった人、試験前日に試験でなく酒に飲まれた人、などさまざまいたことを後に聞きました（泣）。それでも今は同級生皆さんのだれもが素晴らしい医療者になり今も力を発揮されている様子を、2018年の卒後30年目の同窓会（富田雅樹先生の幹事）で再会し確認することができました（図8）。同じ運動部にいたラグビー部などの、宮崎を地方で支える先生たちや、宮崎を離れた先生たちからも、私が母校の教授になったことを大変喜んでもらったことは感慨深いことでした。地域診療に従事する方々、開業医となった方々、拠点病院の幹部でおられる方々、宮崎や全国のアカデミアで勤務している方々など皆さん活躍していることも知り得たことは宮崎大学に赴任できたことで得られた副産物です。人生日是好日です。



図8 卒業アルバム写真と卒後30周年記念

宮崎を離れる3月、卒業式は雨の降る寒い体育館で行われ（図9）、目の前の輔仁会学生食堂で謝恩会が催されました。保護者も少なからず参加されていた覚えがありますが、私の母も来ていたようで、私には少しの挨拶で長崎に戻っていきました。教授恩師たちも正装している人もいれば普段着で来ている人もいて、食堂でワイワイガヤガヤ、教授MVPを選出し、宮崎ならではの野性的な宴会風で6年間の幕を閉じました。野球部追い出し試合では雨の降りしきる中、最後の打席で後輩から大ホームランを打たせていただいた（昔のグラウンドで現在の駐車場。打球は食堂近くまで飛んだらしいのですが雨で見えずライトの後輩の確認のみの言。）のがよい旅立ちの思い出でした（図10）。



図9 体育館前は雨だと水溜まりに @卒業式



図10 精鋭の集まった奇跡の野球部9期生と私のフォームの変遷

7. 就職そして再会

国試から帰るともう3日のうちに新入生がアパートに入るから引き払うようにと、大家さんから厳しい連絡があり、どたばたで宮崎の同級生や後輩に手伝ってもらい引っ越し準備をしましたが、持ち帰るものはわずかで、何から何まで荷物を捨てまくりました。その中に貴重な学生時代の思い出になるものがあったと思いますが、地元に戻ったときには何もかも消え去りひどく後悔が残ったものでした。国試合格が決まればもう宮医大に頭はなく就職先に心は移ってしまい、やおら2か月無給の仕事に入りました。そんな記憶から27年の時が過ぎ、その間何度かOB戦やOB会参加で母校を訪れ、また旧第一外科の故 千々岩教授がお元気なころに学内や病院内を訪問する機会もあり、2015年に宮崎へ赴任することに相成りました。前任地の大学には居場所がなくなり、かつて学生時代に実習などでお世話になった1期生の先輩方の応援もいただいて今の4代目の職に就くことになり(図11)、そして外科の大講座という責務を受け、現在で9年が経過しました。卒後に宮医大で習った臨床や実習で学んだことは非常に最先端の内容で(サイトカイン関連や心臓手術など)、研修医時代に“なんでそこまで知っているの?”と就職先のN大で聞かれるのは大きな



図11

赴任直後に宮医大大先輩たちから受けた歓迎と香月武人名誉教授から外科講座の歴史資料と薫陶の引継ぎ

喜びで悦に入っていました。そのことも思い出し、これまでもこれからも卒業していく学生が母校に誇りを持てるように、医学知識は尽きることがないこと、最先端の医療も教えていてどこにいても引け目を持つことはないことを伝え、そしてこれからの知識と医師・医学者の在り方を教えることに、宮医大卒業生として学生時代の経験がある教員として鋭意努めています。

宮崎に引き付けられてからちょうど50年経ち、還暦を迎え新たな60歳代を迎えるとき、宮医大、宮崎大学医学部50周年を、私自身の人生の物差しとしてつらつらと思い出すままに昭和最後の記録を残せるよう寄稿させていただきました。昔あって今ないものは、野球部、陸上部、サッカー部、ラグビー部のグラウンド、病院の外来は控室に外来は外来棟へ、昔なくて今あるものは数知れず、昔あってまだあるものは武道場、土俵(ボクシングで使用)、時計塔、正門前のヤシの木、でしょうか。

宮医大、宮崎大学医学部50周年万歳!

“赤い運命”で挿入したこのころの医大生が選んだ歌・曲: テレサテンーつぐない; Dead Or Alive - Something In My House; 角川博ー定め川; 松任谷由実ー冷たい雨(誰かの赤い靴がキーワード); Simon & Garfunkel-Scarborough Fair and Mrs. Robinson; 原由子ーあじさいのうた; Kenny Loggins - Danger Zone; 岡村孝子ー夢をあきらめないで; Something JAZZ; Ann Wilson-Heart; 麻倉未稀ーヒーロー; 軍艦マーチ; T-SQUAREーF1テーマ曲『TRUTH』; アン・ルイスー六本木心中

1982~1988年の主な歴史的出来事 (筆者の勝手なピックアップ)

1982年<昭和57年>

ホテルニュージャパン火災,

東北新幹線が開業, テレホンカード登場

1983年<昭和58年>

ロッキード事件で田中元首相に実刑判決

1984年<昭和59年>

エリマキトカゲ, ロサンゼルス五輪

1985年<昭和60年>

阪神タイガース初の日本一,

ゴルバチョフ, ソ連共産党書記長に就任

1986年<昭和61年>

チャールズ皇太子とダイアナ妃来日,
三原山大噴火, ファミコンブーム,
チャレンジャー号爆発事故(試験勉強中の
ライブ中継で目撃),
チェルノブイリ原子力発電所事故

1987年<昭和62年>

国鉄分割民営化しJRに,
利根川進ノーベル生理学賞受賞,
エイズ問題深刻化

1988年<昭和63年>

青函トンネル開業に瀬戸大橋が開通,
ソウル五輪

“卒業する1988年3月の時点では、翌89年に昭和64年が1か月で天皇崩御により突然終わり平成に改元され宴会が自粛ムードとなることや、消費税(3%)が実施され世界では天安門事件勃発にベルリンの壁崩壊からゴルビー書記長による冷戦終結の一つの伏線があったとは知る由はなかったが、我々衆人が知らない水面下で早くとも1987年までに世界で着々と世代交代の線が引かれていたのかもしれない…。それが1988年3月までの我々9期生の世界であり気分はもうNew Worldだった!” 銃口の時代が終わり、1989年以降のリゲイン飲んで**24時間365日**働けますか?の世界に突入した。

お知らせ

令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、なにとぞ、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和7年3月末卒業予定者

【就職希望者】 17名(男0名, 女17名)

【就職希望地】 宮崎市内9名, 都城3名,
延岡・日向3名, 日南2名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

寄 稿

宮崎看護専門学校の課程変更について

宮崎看護専門学校 校長 ^{しら}白 ^お尾 ^{かず}一 ^{さだ}定

宮崎看護専門学校は、来年2025年（令和7年）4月に看護師3年課程昼間定時制（4年修業）に課程変更しますので、紹介させていただきます。

2023年厚生労働省の第2回看護師等確保基本指針検討部会によると看護師就業者数は、

2005年 130.8万人

（准看護師 41.2万人、看護師 82.3万人）

2014年 157.3万人

（准看護師 35.5万人、看護師 112.2万人）

2020年 173.4万人

（准看護師 30.5万人、看護師 132万人）

と准看護師は減少し、看護師は増加しています。就業場所では、2005年、2014年、2020年を見ると、

病院 81.9万人、97.8万人、101.2万人

診療所 28.4万人、30.1万人、34.8万人

介護保険施設など

9.1万人、13.7万人、17.3万人

訪問看護ステーション

2.7万人、4.0万人、6.8万人

で、介護保険施設などと訪問介護ステーションの就業者が増加しています。今後の動向については、2018年5月21日に厚生労働省から出された『「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」に基づくマンパワーのシミュレーション』などに基づく看護職員の需要推計によると、

2025年の看護職員 194.5万人

（医療機関（病院、診療所） 135.1万人
介護施設・事業所（訪問看護ステーションを含む） 40.0万人
保健師・助産師・その他 19.3万人）

2030年 203.2万人

（138.6万人、44.4万人、20.2万人）

2035年 208.7万人

（139.9万人、48.0万人、20.8万人）

2040年 210.1万人

（139.2万人、50.0万人、20.9万人）

と推計しています。介護施設・事業所（訪問看護ステーションを含む）の需要が増加する予想です。今後も看護師の需要は増加しますが看護師を目指す若年の減少により、看護学校の運営はますます厳しくなることが推測されます。

宮崎看護専門学校は1952年（昭和27年）に准看護師養成校として開始し、1970年（昭和45年）に看護師養成の課程を新設、准看護師（高等課程）を72年間、看護師（専門課程）を54年間養成し、多くの卒業生が宮崎県内の医療機関に就職し地域医療に貢献してきました。現在まで、准看護師6,231名、看護師2,315名を送り出しています。高等課程は、学年定員100名で修業年数2年昼間の授業、専門課程は学年定員50名で修業年数3年夜間の授業を行ってきました。看護師不足の中、高等課程では准看護師を、専門課程では看護師を育成してきました。少子化が進む中、高等課程の受験者数は5年前の2018年（平成30年）は104名、昨年の2023年（令和5年）は60名まで落ち込み、入学者数も2018年81名から2023年46名と、定員を大幅に下回ってきました。高等課程卒業生減少にともない、専門課程の受験者数は、

2017年（平成29年） 92名

2018年（平成30年） 63名

2023年（令和5年） 49名

と減少しました。高等課程から専門課程への進学率は、

2016年 高等課程卒業 94名中36名 (38.3%)

2018年 86名中44名 (51.2%)

2023年 44名中31名 (70.5%)

となり、高等課程卒業の多くの学生が専門課程まで進み、看護師を目指すようになりました。全国統計と同じように、准看護師として働く卒業生は減少しています。

本校の県准看護師試験の合格率は、

令和元年 100% 令和2年 100%

令和3年 98% 令和4年 100%

令和5年 98%

看護師国家試験の合格率は、

令和元年 96% 令和2年 88%

令和3年 91% 令和4年 100%

令和5年 96%

と高い合格率を維持しています。高等課程を卒業し、准看護師免許を取得した多くの学生が看護師を目指すようになっていくことも課程変更の理由です。准看護師養成を止めることは多くの市郡医師会会員の理解が必要と考え、アンケート調査や学生の勤務する医療機関への訪問などを行いました。2022年6月25日の宮崎市郡医師会第161回定時総会にて、入学生の減少の中これ以上の経営悪化を食い止め、看護師養成を継続するために課程変更は必要であることを訴え、課程変更を承認していただきました。

本校は、准看護師養成（高等課程）の2023年（令和5年度）生を最終募集とし、2025年（令和7年）3月には高等課程廃止、現在の2年生が最後の学年となります。専門課程は現在の高等課程2年生が卒業する2028年（令和10年）3月に廃止します。高等課程廃止時の2025年（令和7年）4月に看護師3年課程昼間定時制（4年修業）を開校します。本校高等課程は廃止しますが県内の准看護養成校は、都城看護専門学校（准看護師課程、看護師2年課程）、日向看護高等専修学校、児湯准看護学校があり

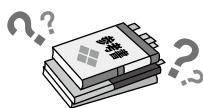
ます。県内の看護師養成校は、4年間学ぶ看護大学（宮崎大学、県立看護大学）、看護師養成3年課程（九州医療科学大学専門学校、都城医療センター附属看護学校、フィオーレKOGA看護専門学校、延岡看護専門学校など）、中学卒業後5年一貫で学ぶ高校看護専攻科（鵬翔高校、日南学園高校など）があります。准看護師から看護師を養成する中で、働きながら養成する課程を継続することが大切だと肌で感じてきました。4年間で昼間に学ぶ看護師養成3年課程昼間定時制は全国で6校、九州では福岡県の原看護専門学校1校のみで、宮崎では初めてとなります。

本看護学校は「働きながら看護師を目指す」学校としてこれまで多くの看護師を育成し、卒業生の約8割は宮崎県内に就職し地域医療を支えてきました。金銭的理由で働きながら看護師を目指す、社会人を経験して看護師を目指す、介護を経験して看護師を目指す、子育てが落ち着いて看護師を目指す、など多様な人材が看護師となっています。2020年（令和2年）9月、校舎を生目の杜医療防災拠点に移転し、宮崎市郡医師会病院に隣接する看護学校として講師陣の充実や実習場所などの学習環境のよさも強みです。宮崎市郡医師会病院奨学金制度の利用、医師会会員が運営する医療機関などの求人情報を提供することで働き先の確保も可能です。

2023年12月にパンフレット作成が終了し、宮崎県医療政策課へ課程変更計画を提出したところです。今後はポスターの作成、学校訪問を予定しています。この先さらに高齢化が進み、看護師の需要はますます高まっています。この機会に働きながら看護師を目指す人材を募集しています。このように新しい看護学校ができることを皆様に知っていただきたく投稿した次第です。皆様のご支援をよろしくお願いします。



宮崎市郡医師会諸施設



あなたできますか？

—令和5年度 医師国家試験問題より—

(解答は31ページ)

1. 医師の指示があっても採血できない職種はどれか。
 - a 看護師
 - b 助産師
 - c 保健師
 - d 薬剤師
 - e 臨床検査技師
2. 低カルシウム血症と低リン血症を同時にきたす病態はどれか。
 - a 腫瘍性骨軟化症
 - b 甲状腺機能亢進症
 - c ビタミンD欠乏症
 - d 副甲状腺機能低下症
 - e 慢性腎臓病に伴うミネラル骨代謝異常
3. 関節リウマチの関節外病変はどれか。3つ選べ。
 - a 上強膜炎
 - b 皮下結節
 - c 間質性肺炎
 - d 逆流性食道炎
 - e 急速進行性糸球体腎炎
4. 2歳児のけいれんの原因で最も頻度が高いのはどれか。
 - a 急性脳症
 - b てんかん
 - c 細菌性髄膜炎
 - d 熱性けいれん
 - e 憤怒けいれん〈泣き入りひきつけ〉
5. 死産届が必要な妊娠週数は何週以降か。
 - a 8
 - b 12
 - c 16
 - d 20
 - e 24
6. ショックと症候の組合せで誤っているのはどれか。
 - a 出血性ショック ————— 頻 脈
 - b 心原性ショック ————— 乏 尿
 - c 神経原性ショック ————— 徐 脈
 - d 敗血症性ショック ————— 蕁麻疹
 - e アナフィラキシーショック — 喉頭浮腫
7. ウイルス発見以後、アフリカ各地で流行が繰り返されてきた。感染者の体液に触れるとウイルスが傷口や粘膜から体内に入り感染する。発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛と咽頭痛などに続いて嘔吐や下痢が出現する。病状回復後も精液内にウイルスが残存することがある。過去の流行における平均の致死率は約50%である。
このウイルスはどれか。
 - a エボラウイルス
 - b ジカウイルス
 - c 新型コロナウイルス
 - d デングウイルス
 - e ポリオウイルス
8. 78歳の男性。入院中に肺炎を発症し喀痰検査を施行したところ多剤耐性緑膿菌を検出した。感染予防策で適切なものはどれか。
 - a 個室管理は必要ない。
 - b N95マスクを着用し診察する。
 - c 病室に出入りする人全員が同様に予防策を理解する。
 - d 手袋を使用して患者に接触した場合、手袋を外せば手洗いは必要ない。
 - e 痰の吸引をしなければPersonal Protective Equipment〈PPE〉は必要ない。
9. 65歳の女性（2妊1産）。乳房のしこりを主訴に来院した。10年ほど前から左乳房のしこりを自覚していたが様子を見ていた。最近になって痛みが出現したため受診した。乳癌の家族歴はない。身長160cm、体重60kg。体温36.0℃。脈拍80/分、整。血圧146/90mmHg。左乳房に皮膚の陥凹を認め、径3cmの腫瘤を触知する。マンモグラフィでは周囲にスピキュラを伴う高濃度腫瘤陰影と多形性の微細石灰化像を認めた。
診断はどれか。
 - a 乳 癌
 - b 乳腺症
 - c 葉状腫瘍
 - d 慢性乳腺炎
 - e 乳腺線維腺腫

エコー・リレー

(586回)

(南から北へ北から南へ)

女性のライフステージで思うこと
(個人の意見です 笑)宮崎市 南部病院 しお た みつ え
塩 田 充 恵

趣味で社交ダンスをしています。姿勢がよいだけで褒められ、指をピシッと伸ばしただけで褒められ、今までに感じたことのない自己肯定感の上昇があり、すっかりはまってしまいました。妊娠・出産・産後に休

みましたが少し前に再開し、動けなくなっている体に失望しつつ、楽しんでます。つい最近のテストでかなりよい点数を得られたためモチベーションも上がり、自己肯定感上昇、健康維持に社交ダンスは最適だと感じています。

女性はライフステージによってさまざまな女性特有の困難を抱えます。若年期には月経のつらさ、性成熟期には妊娠・出産・産後の体のつらさに加え、育児と同時に家事仕事でさまざまな困難に直面すること。または子どもを持たない選択をする自由を感じられないことなど。更年期には家事育児さらに介護、仕事の責任が重くなりさらに生活習慣病、癌の脅威や女性ホルモンに翻弄され困難を感じる。私は産後と更年期が同時に来たことに加え持病があるため、例えるなら荒波の中で暴風雨に見舞われもがく中、足を引っ張られるように感じながら日々過ごしていました。自分がどんな状態でも容赦なく子どもが車道で寝転がってイヤイヤと泣きわめく日常は待ってくれません。更年期障害の治療を受けて、足を引っ張られると感じるのは減り、息ができるようになりました。患者さんの診察で、「更年期は生きるだけで本っ当につらいですよ！」と実感のこもった共感ができるようにしました。

そしてつくづく女性は我慢しすぎると感じます。多くの女性は体調が悪くてどうにもならなくてやっと病院に来ます。私が診察で親身になって傾聴し薬を処方すると、再診時には別人のように明るくなって来院する人が何人もいます。我慢は美德ではないのです。その我慢した時間、つらいつらいと過ごした時期が少しでも短くなればと思い、今日も患者さんの診療に励みます。患者さんの生き生きとした本来の自分らしい時間が早く訪れるのを願いつつ。

[次回は、宮崎市の迫田 哲平先生をお願いします]

指導するということ

小林市 くすもと内科クリニック くす もと のり お
楠 元 規 生

先日友人と焼き肉に行っていたとき、「最近血糖が高いって言われるんだけどどうすればいいかな？」と質問がありました。どう返答しようか考えていると「痩せろはやめてね。どこにいても言われるけど、分かっているって。ダイエット本たくさん読んだから、

炭水化物を減らしてって言われても知ってるし。野菜食べてもすぐお腹がすくし、運動なんて時間もないし。痩せろって何回も言われると気分が落ちるんだよね。」と言われ、患者さんはそう考えているかもしれないと思いました。この仕事をしていると人に指導するということがよくあります。減量以外にも禁煙や禁酒などさまざまです。それによってやめることができ、元気に通われている方もいて印象に残っています。しかし、それよりももっと多くの方が、やめられなくて医師に怒られると考え、外来も途中で来られなくなったりすることが多くある気がします。患者さんは言われなくても分かっているんだよね、自分の休みの日に診察を待ってお金を出してまで嫌な気になりたくないよねと考え、最近は「体重が増えるのは簡単ですけど、痩せるのは大変ですよ」や「禁煙できなくても減煙でもいいのでまた来てください」と一言添えるようになりました。心なしか禁煙外来のドロップアウトが減った気がします。統計を取っていないので僕の希望的観測なのかもしれません。

折しも6月から生活習慣病管理料が開始となります。栄養、運動、休養、喫煙、飲酒および服薬などの生活習慣に関する総合的な治療管理を行う旨、患者に対して療養計画書により丁寧に説明を行い患者の同意を得るとともに、当該計画書に患者の署名を受けた場合に算定できるとされています。いろいろ思うことがありますが、ここでは割愛させていただきます。従わないわけにはいかないので準備を行い、しっかり療養計画書を策定し、丁寧に説明したいと考えていますが毎回のことであり、あまり説教くさく、くどくなりすぎないように気を付けたいと思います。

ちなみに友人とは焼き肉を腹一杯食べ、おいしいアルコールもたらふく飲みました。最近服がちよっときつくなってきたので、まずは小腹がすいたときに食べていたカップ麺を低糖質麺に変えたいと思います。

[次回は、小林市の尚原 正昭先生をお願いします]

叙勲・祝賀

瑞宝中綬章

すが ぬま たつ お
菅 沼 龍 夫 先生（宮 崎）

令和6年春の叙勲において、教育研究功勞により瑞宝中綬章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



瑞宝小綬章

きく ち いく お
菊 池 郁 夫 先生（宮 崎）
た なか ひろし
田 中 洋 先生（日 向）

令和6年春の叙勲において、保健衛生功勞により瑞宝小綬章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



菊池 先生



田中 先生

瑞宝双光章

いずみ
泉

きみ よし
公 美 先生（延 岡）

令和6年春の叙勲において、学校保健功勞により瑞宝双光章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



メディアの目



フィッティング難民

共同通信社 宮崎支局長

あ そ よし ひろ
阿 曾 吉 宏

この丸1年ほど、目の不調にさいなまれている。きっかけは1年3か月ほど愛用していた遠近両用眼鏡にかなりの不快感を覚えたこと。視力の低下が進んだとみて、最寄りの眼鏡店で勧めの高額レンズに入れ替えたところ、迷走が始まった。疲れ目や肩こり、軽い頭痛、眼下のけいれんにめまいが頻発。連日のように店へ駆け込んで、掛け具合の微調整や視力再測定を重ねてみたがいっこうに改善せず、店長は首をひねるばかりだった。病気を懸念して眼科を受診しても、大した異常はなし。これではまるでクレマーではないか、と落ち込んだ。

かつてない経験に困惑しながら「慣れるまで時間も必要」との指摘に従い、渋々ながらしばらく辛抱してみた。だが、目のストレスは厄介なもので、集中力に影響するだけでなく、体のあちこちにまで不具合が波及して、仕事に差し障りが生じてきた。やむなく半年ほどで見切りを付け、別の店で眼鏡を新調。それでも店通いと眼科受診という同じ行動の繰り返しとなり、数か月後にはさらに別の店で矯正度数を変えた新たな一式をあつらえる羽目に陥ったのだ。しかし少し楽になったとはいえ、依然としてしつくりこない状態が続いている。

この間、もちろん各店のスタッフはプロフェッショナルとして、解決に向けてそれぞれ熱心に取り組んでくれていたのは間違いない。先方

とした言葉で切々と訴えられ、理解して速やかに改善しろと迫られるのだから、さぞや難儀なことだろう。それでもなんとか糸口を見いだそうと、具体的な症状やら、目を使う日常的な作業やら環境やらをあれこれ尋ねては知恵を絞り、処置を施してくれる。それにもかかわらず結果につながらない日々が続くと、専門知識を持ち合わせず、己ではいかんとも対処できない当方としては、いら立ちや不信感が募るのは必定。やり場のない憤りを抱えたまま、やがて諦めるしか手はないのだろうか…。今はそんな境地を迎えつつある。

このような状況に置かれた人々を、業界関係者の間では「フィッティング難民」と呼ぶそうだ。要するに眼科診断でも、レンズの矯正度数としても問題はないが、掛け具合の微妙な調整次第で違和感が生じ、適切な修正を得られずに苦悩が続くということらしい。視界にある程度のゆがみを伴う遠近両用で特に該当者は多いのだとか。ひとかどの調整技術を身に付けるには光学の知識に加えて、それなりの努力と修練が必要らしく、腕前を売りにする業者もネット上で散見される。今回は残念ながら相応の技能者に出会えなかったのかもしれない。業界の信頼確保のためにも、そうした方々が増えてくれることを願うばかりだ。

愚痴に終始して誠に心苦しいのだが、何かのご参考になればと思う。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第33回 職員の金銭横領について

**Q.**

当院は、保険診療を行っているところ、患者さんが窓口負担で支払われる現金の管理を経理事務が1人で担当しています。しかし、毎月の来院患者数や診療報酬から想定される金額と実際の現金残高に差異があるように感じており、もしかすると経理事務による横領の可能性を考えています。このような場合、どのように対処するのがよいのでしょうか。

まず、医療機関における職員の横領の典型例は、職員が患者からの窓口負担金を横領して、その売上金を帳簿に計上しないケースです（計上していれば、帳簿の金額と実際の金銭のズレがすぐにわかるからです）。この場合、医療機関として売り上げた金銭が税務申告上の売上に計上されない状態で税務申告を行うことになることから、脱税となります。実際、職員の横領は税務調査によって発覚するケースが非常に多いです。そのため、本来計上すべきであった売上金を計上していなかったことにより追徴課税がなされます。

このように職員による横領が発生した場合、本来のお金がなくなったことに加え、追徴課税という二重の負担を受けることとなるため、深刻な経営問題に至る可能性が生じる重大な問題です。そのため、まずは職員による横領が発生しないようにするための経理業務の統制が必要不可欠です。少なくとも、現金を管理する職員が1人ですべて担当することは避けて、複数人でチェックを行う、定期的に患者に発行する領収書などを含めたレセプトに基づき計算される窓口負担金と、実際のお金が合致していることをチェックするなどの対策が極めて重要となります。万が一、職員による横領が発覚した場合、業務上横領罪として刑事罰に該当することはもちろん、民事上も返還を求める必要があります。このときに、対象職員から正確に事実関係を聞き取り、横領された金額を正確に割り出し、被害金の弁済を求めましょう。また、その金額が多額である場合には、税理士に相談のうえ適切な売上金を前提にした修正申告を行う必要があります。なお、横領した職員に対しては懲戒解雇を前提に処分を下すことになりますが、解雇予告手当を不支給とするためには労働基準監督署に申請を行い、除外認定を受ける必要があることに注意が必要です。また、就業規則においてもその定めが必要となりますので、今一度就業規則の内容の点検も重要です。

（回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂）

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～4月～

令和6年4月1日～令和6年4月28日（第14週～第17週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核8例（男性3例・女性5例）：宮崎市（6例），延岡（1例），日南（1例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，無症状病原体保有者であった。原因菌はO112（VT2）であった。
- 4類：○E型肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代の男性で，主な症状として肝機能異常がみられた。
- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2例：宮崎市，都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で，1例にダニの刺し口があった。主な症状として，発熱，神経症状，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，消化管出血がみられた。
- つつが虫病1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，主な症状として頭痛，発熱，刺し口，発疹がみられた。
- 日本紅斑熱2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と70歳代で，主な症状として発熱，頭痛，発疹，肝機能異常がみられた。
- レジオネラ症2例：宮崎市，日南保健所管内から報告があった。年齢は30歳代と70歳代で，病型はポンティアック熱型と肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎がみられた。
- 5類：○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，無症候性キャリアだった。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として発熱，ショック，肺炎，菌血症，膿胸がみられた。
- 水痘（入院例）2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は10歳代と50歳代で，主な症状として発熱，発疹，免疫不全，肺炎がみられた。ワクチン接種歴は有りとしであった。
- 梅毒16例（男性8例・女性8例）：保健所別報告数は宮崎市（10例），都城（3例），小林（2例），高鍋（1例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表3】，年齢別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，ぶどう膜炎等がみられた。
- 播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発熱，意識障害，真菌血症がみられた。
- 百日咳24例：保健所別報告数は宮崎市（18例），高鍋（6例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，無呼吸発作がみられた。ワクチン接種歴は有りが21例，不明が3例であった。

表1 結核 病型別報告数（例）

肺結核	5
その他の結核 （結核性胸膜炎）	1
無症状病原体保有者	2

表2 結核 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
20歳代	1
60歳代	2
80歳代	5

表3 梅毒 病型別報告数（例）

早期顕症梅毒Ⅰ期	7
早期顕症梅毒Ⅱ期	3
無症状病原体保有者	6

表4 梅毒 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
10歳代	2
20歳代	6
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	2
60歳代	2
70歳代	1
80歳代	1

表5 百日咳 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
0～4歳	10
5～9歳	8
10歳代	4
30歳代	1
80歳代	1

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	Coxsackievirus A6	3
	Influenza virus A H1pdm09	1
	Influenza virus B (Victoria lineage)	5

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,324人（定点あたり81.0）で、前月の58％、例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の120％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、水痘、手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、伝染性紅斑及び手足口病であった。

手足口病の報告数は198人（5.5）で前月の約2.2倍、例年の約10.7倍であった。宮崎市（12.0）、都城（6.5）、中央（6.0）保健所からの報告が多く、6ヵ月～3歳が全体の約9割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は757人（21.0）で前月とほぼ同じで、例年の約5.4倍であった。宮崎市（26.6）、日南（26.3）、延岡（23.3）保健所からの報告が多く、3歳から8歳が全体の約6割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向（2024年4月）

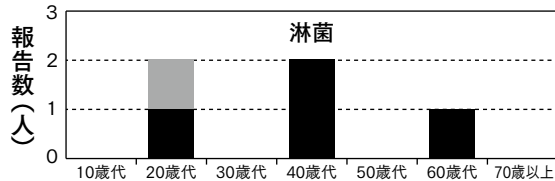
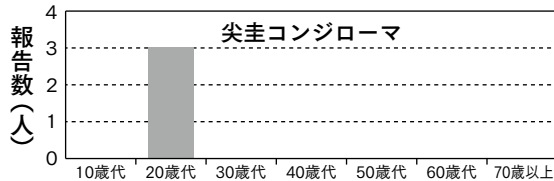
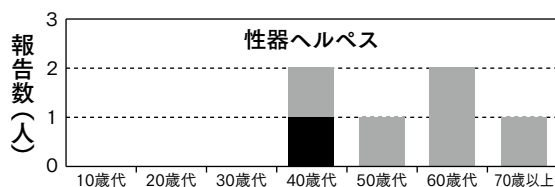
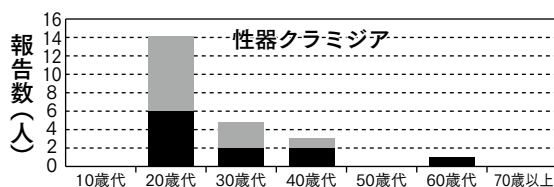
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は37人（2.9）で、前月比154％と増加した。また、昨年4月（3.2）の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人（1.8）で、前月の約2.1倍、昨年4月の約1.1倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性11人・女性12人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月の1.2倍、昨年4月の約0.5倍であった。（男性1人・女性5人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月及び昨年4月の1.5倍であった。（女性3人）
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約0.8倍、昨年4月の約0.7倍であった。（男性4人・女性1人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人（2.7）で、前月比83％と減少した。また、昨年4月（2.3）の約1.2倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人（2.7）で、前月の約0.8倍、昨年4月の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2024年4月		2024年3月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	434	7.5	2,865	49.4	★
新型コロナ※1	790	13.6	1,491	25.7	
RSウイルス感染症	173	4.8	23	0.6	
咽頭結膜熱	193	5.4	278	7.7	★
溶レン菌咽頭炎※2	757	21.0	774	21.5	★
感染性胃腸炎	643	17.9	909	25.3	
水痘	39	1.1	14	0.4	★
手足口病	198	5.5	91	2.5	★
伝染性紅斑	5	0.1	0	0.0	★
突発性発しん	64	1.8	61	1.7	
ヘルパンギーナ	13	0.4	9	0.3	
流行性耳下腺炎	4	0.1	4	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	11	1.8	24	4.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター



すずき むねお 副病院長
鈴木 斎王 センター長

平成12年に地域医療連携推進センターとして発足以来24年となりました。現在の人員体制は、医師1名、看護師長1名、前方支援（入院案内および情報収集）に看護師5名、事務員4名、後方支援（退院支援）に看護師7名、MSW8名、窓口業務として看護師1名、MSW2名が従事しています。更に同部屋に平成31年より発足した医療支援課（医療支援係、医療安全係など）が協働しております。院内の場所は、外来棟1階の診療受付の奥、西側立体駐車場から入ると通路中頃の右手に受付があります。相談支援室も10室稼働しており、入院支援から退院支援に至ることはもちろん、医療、介護、福祉、がんなどの患者さんをめぐるさまざまな相談に応じています。現在行っている主な業務は以下のとおりです。

- 1 関連医療機関などとの入院・退院・転院などの連絡・調整
 - 1) 入院支援・病床管理（前方連携）
 - 2) 退院支援・退院調整（後方連携）
- 2 医療、介護、福祉などの相談（患者サポート体制）に関わる業務
- 3 がん診療連携拠点病院に関わる業務や相談支援
 - がんサロンの開催
- 4 公費関係の業務
- 5 その他

がん患者さんや難病患者さん、アレルギーの患者さんのために、当センターにがん相談支援センターおよび難病・アレルギーセンターを併設しており、当院の患者さんのみならず家族や

院外の方々からの相談も受け付けています。令和5年度はがん相談支援専従看護師を中心に県内医療施設の協力を得て、がん相談支援に力を入れ、繁華街での広報活動（写真）や県民公開講座（患者さんやサバイバーさん座談会）、図書館でのがん関連絵本の朗読会などを開催しました。また、がん患者さん・難病などの長期療養患者さんの就労支援としてハローワークの相談員に来ていただいています。この他にも、産業保健総合支援センターや宮崎県労働局とも連携して、患者さんが日常の生活を維持できるように取り組んでいます。

患者さんがより快適に医療を受けられるように、さまざまな業務を拡大してまいりましたが、常にマンパワーが不足した状況にあり、十分に患者支援を行えているわけではありません。温かく応援していただければと思います。その他の、MSWや診療情報管理士、事務員向けの医療スタッフの教育や実習生の受入れも行っています。患者さんに最善の状態で高度医療を受けていただくように、疾病管理・栄養管理や口腔ケアなど周術期ケア機能としての拡大を考えているところです。

センター長は宮崎県の医療資源調査事業（アドバイザー）、難病拠点病院事務局も兼任しており、情報提供や医療資源の適正配置などに向けて医療行政にも貢献しています。

連絡先：宮崎大学医学部附属病院
患者支援センター

TEL：0985-85-1909

FAX：0985-85-9769



街市での「がんサポートブック」啓発活動

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(皮膚科医会)

にしだ たかあき
西田 隆昭 会長

ここ数年はコロナのこともありましたが、皮膚科医会としてはリモートなどを活用しながら、だいたい以前と同じように活動してまいりました。以下に活動報告と今後の予定を示していきます。

●宮崎県皮膚科懇話会

年に3回行っている勉強会です。昨年は宮崎市立田野病院整形外科の渡邊信二先生に「足部の変形に伴う皮膚障害と対策」、巻き爪フットケアサロン楽歩の押川美穂氏に「医師も認めるペディグラスの巻き爪補正」、この2月には宮崎大学皮膚科の江藤博文先生に「悪性黒色腫を中心に－皮膚悪性腫瘍について－」と講演していただきました。その後にはコロナでできなかった皮膚科医会の新年会を4年ぶりに行いました。今年の6月には宮崎県立看護大学教授の川越靖之先生に「宮崎県の子宮頸がんの現状と対策」と題して講演していただく予定です。

●皮膚科だより

昭和50年の第1号からだいたい年2回発刊し、今年の1月に110号を発刊しました。

●皮膚の日講演会

2002年から青木皮膚科の出盛允啓先生にお願いしており、昨年は「炭水化物 $C_n(H_2O)_n$ {唐(糖質)の話}－甘い糖, 甘くない糖(糖鎖)－」と題し講演していただきました。前回に引き続き今回も会場開催とWeb配信の2本立て、少しコストはかかりますが参加者も増え、後からも観られるので今後もこのスタイルでの開催を考えています。

●ポスター作成

11月12日が「皮膚の日」になっており、これに合わせて毎年疾患啓発のポスターを作成しています。一昨年の33枚目は「帯状疱疹 part 2～ワクチンで予防できる時代になりました～」、昨年の34枚目は「ヒトイボウイルスによ

るさまざまな病気～子宮頸がん予防ワクチンについて～」で作成しました。ポスター作成、皮膚の日講演会には県医師会から補助金をいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

●帯状疱疹の疫学調査

1997年に仲間内のひよんな話から始まった帯状疱疹の患者数集計です。皮膚科医会会員や大学、その関連病院から症例を集め、コツコツ地道に続けること28年。途中でしっかりした統計処理をしたり、正確度を検証したりと、今や「宮崎スタディ」として超メジャー級にまで成長し、帯状疱疹疫学調査などにおいては筆頭に挙げられるものになりました。程よい大きさで、みんなが顔見知りで連携を取りやすい宮崎県皮膚科医会だからこそ続けられてきたものだと思います。日南市の外山先生が中心となり統計を取ってきましたが、今後は宮崎大学皮膚科が中心となってくれて集計継続予定です。

以上が主な活動報告となります。皮膚科医会としては特に大きく変えることなく以上の活動を継続していこうと思います。

喫緊の課題ではありませんが、皮膚科の開業医不足の問題があります。宮崎県皮膚科医会の会員に限って言えば、えびの市、串間市には皮膚科の開業医はいません。日南市、小林市にはそれぞれ1施設だけです。他科と同じように皮膚科においても開業医の高齢化、後継ぎ不在問題があり、比較的多い宮崎市でもいずれ皮膚科開業医は減ってくると思います。宮崎大学皮膚科の入局者が増えているという明るい話題もありますが、ここ10年でいろいろな問題が起こるだろうと思います。事業承継のサポートなど皮膚科医会としてできる対策を考えているところです。

皮膚科は他科の先生とのやり取りが多く、普段の診療でつながっていることも多いと思います。今後とも皮膚科医会含めよろしくお願いいたします。

宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会

と き 令和6年4月20日(土)

ところ 宮崎観光ホテル

本県で臨床研修を始める研修医を歓迎し、また、研修医同士の連帯感を醸成することを目的に本年度も開催した。県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ委員長で、宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修センター長の小松教授の司会により開会し、医師会による研修医のための説明会、県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループによる教育セッションの後、臨床研修病院や協力施設の指導医などを交えた祝賀会を行った。出席研修医は61名（1年次51名・2年次10名）であった。

研修医のための説明会～医師会の役割について～

市来常任理事の司会により開会し、山村副会長が「医師会の紹介」、荒木常任理事が「若手医師支援事業」について、小牧副会長が「医事紛争/医療事故調査制度」について説明した。最後に、市来常任理事が医師会入会と医師資格証のメリットなどを説明し、医師会への入会をお願いした。なお本会から、記念品としてペンライトを贈呈した。

臨床研修スタートアップ・教育セッション

小松教授の進行のもと、現在の臨床研修制度を経験した若手医師および指導経験豊富な医師7名に、「2年間の臨床研修を充実させるための心構えとコツ」というテーマで、右記プログラムに沿ってご講演いただいた。



1. イントロダクション

宮崎大学医学部附属病院

県臨床研修・専門研修運営協議会WG委員長

小松 弘幸 先生

2. “できレジ”を目指そう！

古賀総合病院

松浦 良樹 先生

(講演動画放映)

3. 救急サバイバル

宮崎大学医学部附属病院

佐々木 朗 先生

4. 地域研修の魅力

都農町国民健康保険病院

中村 行人 先生

5. 研修中の勉強法

県立宮崎病院

黒木 衆 先生

(代理 米良 大雅 先生)

6. 研修Tips集

県立宮崎病院

米良 大雅 先生

7. 研究のススメ 研修医から始めよう

宮崎大学医学部附属病院

酒井 克也 先生

8. ストレスマネジメント

宮崎生協病院

松田 隆志 先生

新研修医祝賀会

本県で研修を始める1年次研修医を歓迎するために平成2年から始めた祝賀会は、今回コロナ禍を経て5年ぶりの開催となった。県から河野知事をはじめ、吉村病院局長・渡久山福祉保健部長、宮崎大学から片岡理事・副学長、教授・医局長・医療人材育成支援センターおよび卒後臨床研修センターのスタッフ、県内の基幹型・協力型臨床研修病院、協力施設の指導医など、関係者および2年次研修医ら合計133名が出席した。

市来常任理事の司会・進行のもと、初めに主催者を代表して河野会長が歓迎の挨拶を行い、その後、河野知事および片岡宮崎大学理事・副学長から研修医へ激励の言葉が送られた。次い

で、新研修医を代表して宮崎大学医学部附属病院の本田萌佳先生がお礼と研修への意気込みを述べ、山口県立延岡病院長の乾杯の発声で開宴した。宴の席上では、1年次研修医に一人ひとり自己紹介を兼ねて抱負を述べていただき、盛会裏に終了した。



令和6年度 1年次研修医 (51名)

宮崎大学医学部附属病院	平山 椎名	江口 百香	外山聡一郎	齋藤 裕之
内之倉俊太	古谷 有希	江藤 佑子	長渡 裕大	県立日南病院
桑原 三慧	本田 萌佳	鬼塚 遥菜	西田航太郎	橋本雄一郎
古賀 啓斗	松永 咲穂	加世田 樹	野中 汰聞	古賀総合病院
佐藤 光	宮城 遼	勝田公弥子	藤川 智帆	岡田 天紋
渋谷 周平	宮田 陸	上別府 司	北國 良太	山崎 颯斗
首藤 皐月	森 夢実	北川 昌平	武田 草百	宮崎生協病院
戸松 由希	福永 麗	児玉 竜祐	富永 莉子	荒武 諒河
中村 拓哉	県立宮崎病院	坂本 拓己	県立延岡病院	斎藤 優敬
根井 健心	石本 竜聖	下村 小春	阿萬 樹生	
野元 奏希	泉 哲	末永 優斗	安藤菜々子	
瀨砂 百華	井上 優希	鉄村 健人	井上 聡士	

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
d	c	a, b, c	d	b	d	a	c	a

九州医師会連合会第414回常任委員会

と き 令和6年2月3日(土)

ところ 出島メッセ長崎

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶(長崎県森崎会長)

3 報 告

1) 第123回九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について(長崎)

① 参加者数について

九州各県から総会・医学会228名, 分科会620名, 記念行事256名が参加し盛会であった旨の報告が行われた。

② 宣言・決議の取扱いについて

宣言・決議の実現に向け令和5年12月1日付で内閣総理大臣をはじめ政財界関係者209名に送付した旨の報告が行われた。

2) 第12回日本医師会赤ひげ大賞における受賞者に対する慶祝について(長崎)

赤ひげ大賞の北野明子先生(福岡), 赤ひげ功労賞の西 征二先生(鹿児島), 松嶋顕介先生(沖縄)に祝電を贈り祝意を表した旨の報告が行われた。

3) 日本医師会次期会長選挙への出馬表明要請について(長崎)

1月13日(土)の第413回常任委員会で承認されたことから, 1月22日付で日本医師会松本吉郎会長に要請文書を発出するとともにメディアアクセスを取り扱う「じぼう社」に情報提供した旨の報告が行われた。

4 協 議

1) 第155回日本医師会臨時代議員会及び九州ブロック日医代議員連絡会議(3月31日(日)日医)の開催について(長崎)

3月31日(日)の臨時代議員会の開会に先立ち, 9時から日本医師会館の九州ブロック控室で連絡会議を開催するとともに, 臨時代議員会の代表質問については, 九医連森崎会長(長崎), 福田副会長(熊本)が協議のうえ, 決定することが承認された。

2) 第415回常任委員会(4月6日(土)長崎市)の開催について(長崎)

九州ブロックから推薦する日医常任理事

などを主な議題として, 4月6日(土)に長崎県医師会館で開催することが承認された。

3) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議及び九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会(5月25日(土)長崎市)の開催について(長崎)

5月25日(土)にホテルニュー長崎で開催することが承認された。

4) 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(5月25日(土)長崎市)の開催について(長崎)

日本医師会の各種委員会の中から, 救急災害医療対策委員会, 医療IT委員会, 未来医師会ビジョン委員会の報告をお願いすることが承認された。

5) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備選挙管理委員の選出について(長崎)

これまでの申し合わせ事項などにより, 熊本および福岡から選出することが承認された。

6) 入国者収容所等視察委員会委員の推薦について(長崎)

現委員の平安 明先生(沖縄)に次期もお願いすることが承認された。

7) 令和6年能登半島地震における被災地へのお見舞いについて(長崎)

甚大な被害状況などに鑑み「九医連災害見舞金(義援金)に関する申し合わせ」に定める九州管内の災害と同様の見舞金(各県10万円+九医連20万円)を石川県医師会に贈ることが承認された。

5 その他

能登半島地震のJMAT派遣状況, 倫理審査委員会の設置状況, 診療報酬改定の影響などについて意見交換が行われた。

出席者-河野会長, 竹崎事務局長

公 示

宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿

【任期】

- ① 令和6年5月1日～令和8年4月30日まで
 ② 令和6年6月15日の宮崎県医師会定例代議員会終結後～令和8年6月の定例代議員会終結の時まで
 ③ 令和6年6月22日の日本医師会定例代議員会の日～令和8年6月の定例代議員会の前日まで

(届出順)

任期	役職名	氏 名	所属都市医師会名	再任 新任	任期	役職名	氏 名	所属都市医師会名	再任 新任
①	代議員会長	中村 彰伸	南 那 珂 医 師 会	新	監 事		宮田 純一	延 岡 市 医 師 会	再
	代議員会副議長	田口 利文	都城市北諸県郡医師会	新			中村 周治	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
②	会 候 補 者	河野 雅行	宮 崎 市 郡 医 師 会	再			田中 穰式	都城市北諸県郡医師会	再
	副 会 長 候 補 者	小牧 斎	宮 崎 市 郡 医 師 会	再	②	裁 定 委 員	大山 秀	西 白 杵 郡 医 師 会	再
		金丸 吉昌	宮 崎 市 郡 医 師 会	新			立山 洋司	西 諸 医 師 会	再
	理 事	吉村 雄樹	西 諸 医 師 会	再			下田 和哉	宮崎大学医学部医師会	新
		落合 秀信	宮崎大学医学部医師会	再			宇和田 収	西都市西児湯医師会	再
		大塚康二郎	西都市西児湯医師会	再			水野 智秀	日向市東白杵郡医師会	新
		松岡 敬子	日向市東白杵郡医師会	新			井上 博	延 岡 市 医 師 会	再
		赤須郁太郎	延 岡 市 医 師 会	再			山元 敏嗣	南 那 珂 医 師 会	再
		峰松 俊夫	南 那 珂 医 師 会	再			永友 慶子	児 湯 医 師 会	再
		山中 聡	児 湯 医 師 会	再			楠元 正輝	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
		玉置 昇	宮 崎 市 郡 医 師 会	再			菊池 清文	宮 崎 市 郡 医 師 会	新
		吉見 雅博	都城市北諸県郡医師会	再			濱田 義臣	都城市北諸県郡医師会	再
		池井 義彦	西 諸 医 師 会	再	③	日 医 代 議 員	河野 雅行	宮 崎 市 郡 医 師 会	新
		荒木 早苗	延 岡 市 医 師 会	再			小牧 斎	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
		市来 能成	宮 崎 市 郡 医 師 会	再			金丸 吉昌	宮 崎 市 郡 医 師 会	新
		上山 貴子	宮 崎 市 郡 医 師 会	再			市来 能成	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
		河原 勝博	宮 崎 市 郡 医 師 会	再			中村 彰伸	南 那 珂 医 師 会	新
		佐々木 究	宮 崎 市 郡 医 師 会	再		日 医 予 備 代 議 員	田口 利文	都城市北諸県郡医師会	新
		嶋本 富博	宮 崎 市 郡 医 師 会	再			荒木 早苗	延 岡 市 医 師 会	再
		高木 純一	宮 崎 市 郡 医 師 会	再			高木 純一	宮 崎 市 郡 医 師 会	新
		田畑 直人	宮 崎 市 郡 医 師 会	再					
		内藤 明美	宮 崎 市 郡 医 師 会	新					
		吉田 建世	延 岡 市 医 師 会	再					

※令和6年5月21日の第179回宮崎県医師会臨時代議員会で選任

※令和6年6月15日の宮崎県医師会理事会で会長候補者、副会長候補者を会長、副会長に選定

※令和6年6月15日の宮崎県医師会理事会で常任理事を選定

日医インターネットニュースから

■【お知らせ】

日本医師会はこのほど、動画「教えて！日医君！HPVワクチン②～知っていますか？若い世代に増えている子宮頸がん～」を制作し、5月1日から公式YouTubeチャンネルで公開を始めました。

日本では毎年、約11,000人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が亡くなっていることを踏まえ、特に若い世代にワクチン接種と定期的に検査を受けることの重要性について理解を求めることを目的として制作したものです。

動画の中では、釜范敏常任理事が日本医師会の公式キャラクターである日医君の質問に答える形で、特に9価のHPVワクチンとキャッチアップ制度について分かりやすく解説しています。ぜひ、ご覧下さい。

また、本動画につきましては、待合室などでより多くの方々にご覧頂くため、希望者に動画データ（MP4ファイル）を差し上げることといたしました。

希望者は、（1）所属機関、（2）氏名、（3）電話番号、（4）使用目的 を明記の上、下記までタイトルを〈動画「HPVワクチン」希望〉として、メールにてお申し込み願います（頂いたメールアドレス宛てに動画のダウンロードURLをお送りします）。

◆問い合わせ先

日本医師会広報課

TEL：03-3946-2121（代）

メールアドレス：kouhou@po.med.or.jp

（令和6年5月14日）

■医師偏在対策「規制的手法」で弊害恐れ — 城守常任理事 —

城守国斗常任理事は5月15日、メディファックスの取材に応じ、医師の偏在対策について、財務省が主張する「規制的手法」を導入すれば、

「さまざまな弊害を生じる恐れがある」と懸念を示した。特に、地域偏在の是正に向けては、都道府県が偏在の状況を把握し、地域の医師会、大学、病院団体などが協力して、「同じ方向を向いて解決を模索する必要がある」と述べた。

日本の人口当たり医師数が、地域によって幅があることは事実だとしたが、「国際的に見てそれほど大きな偏在ではなく、一定の幅に収まっているという認識を持つべきだ」と話した。その上で、今後の高齢化や人口減少を視野に、「一定の差配は必要になる」とした。

財務省は偏在是正に向け、新規開業の制限を主張している。城守氏は、開業規制を行えば、次のような弊害を招く恐れがあるとし、極めて慎重に対応すべきだと強調した。

▽規制前に多くの勤務医が開業に踏み切るなど、大きな移動を招きかねず、病院の入院医療に支障を来す▽医師の少ない地域に医師が行かず、都市部の勤務医として残る —。

現在、偏在対策として進めている地域枠や臨床研修のマッチング、専攻医のシーリングにも言及した。「都道府県がどの2次医療圏で医師が不足しているかを把握し、地域医師会が調整役となって大学などに要請することで、うまくやっている地域はいくつかある」と説明。まずは、都道府県を中心とした調整を進めるべきだとの見解を示した。そのために、厚生労働省と日医が協力し、情報提供などの支援が必要だとした。

●地域別単価、「極めて筋が悪い」

へき地などに医師が行かないのは、「生活や家庭環境の要因が大きい」と指摘。「比較的、移動しやすい環境の医師が交代制で診療するなどの体制を構築すべき」と提言した。体制構築に当たって、収入を補償するための経済的インセンティブは「必要だ」とした。

財務省は経済的インセンティブとして、診療報酬の地域別単価導入を主張している。城守氏は「患者が自己負担の安い地域で受診すること

によって、地域に大きな影響を及ぼす可能性がある。極めて筋が悪い」と批判。経済的インセンティブは、補助金などの手法で進めるべきだとした。

●目安の継続、「政府方針とそぐわない」

社会保障費の「歳出の目安」について、財務省は2025年度以降も継続すべきと主張している。城守氏は、物価高騰・賃金上昇が続いている中、目安を継続すれば人件費に上限を付けることになるとし、「政府方針とそぐわない」と問題視した。

(令和6年5月17日)

■医学教育「日本に合った」システムに — 文科省検討会 —

文部科学省の「今後の医学教育の在り方に関する検討会」は5月17日、第2次中間取りまとめ案を巡って、前回に続いて意見を交わした。

永井良三座長（自治医科大学長）は「まずは、足元の待遇や働き方改革の問題に対応しつつ、医学部・大学病院の位置付けを含め、日本の風土に合ったシステムになるよう、抜本的な見直しを検討すべき」と総括した。取りまとめ案は座長一任となった。

検討会では、今後の医学教育や研究の在り方を議論してきた。

取りまとめ案のうち、医学教育については、▽診療参加型臨床実習の実質化▽教員の適切な評価▽診療科選定地域枠を含めた偏在解消のための方策 — などを記した。

医学研究に関しては、診療負担の重さによる研究成果の低下など、課題を指摘。▽研究医枠、たすきがけ研修といった人材育成推進策▽研究時間確保の取り組み▽医師のライフイベン

トへの配慮 — などに言及した。

●診療における「中核的機関」

取りまとめ案では、国の制度上、大学病院が診療においても「中核的機関として明確に位置付けられて」いる、とした。

これに対して、永井座長は、以下のように疑義を示した。▽大学設置基準で「診療」を記載していないにもかかわらず、特定機能病院以上の高度な医療提供の役割を担わされている▽教育・研究だけでなく、診療まで充実させるための経費が整備されていない —。

「『(中核的機関に) 位置付けられているが、検討すべき課題は多い』というような書き方にしてほしい」と求めた。

今村知明委員（奈良県立医科大公衆衛生学講座教授）も、永井氏に同調した。診療に特化した基準の特定機能病院について、大学病院以外も含まれており、逆に大学病院が該当しなくなる可能性もあると指摘。中核的機関としての大学病院の位置付けが「明確になっているとは言えない」と述べた。

●処遇改善で勤務医の評価を

銘苅桂子委員（琉球大病院長補佐）は、今後、大学病院に勤務する医師の処遇改善に向け、踏み込んで議論するよう提言。取りまとめ案について、「医師として教育者として働く価値を評価する新たな処遇の創設を検討する」といった文言を加筆すべきだとした。

横手幸太郎委員（千葉大学長）は「診療と、博士取得・研究が、『1 + 1 = 2』で評価されるように処遇が改善されないと、博士を取得して研究していくモチベーションにつながらない」と話した。

(令和6年5月21日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) > メンバーズ > 日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

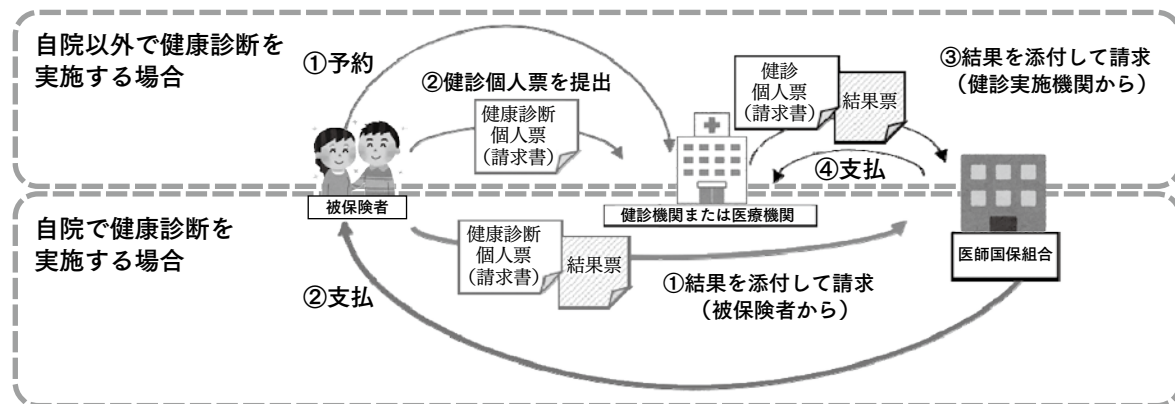
医師国保組合だより

保健事業のご案内

組合員の先生方へ保健事業に関する申請書一式を4月下旬に送付しております。ぜひご利用ください。
なお、各種申請様式は当組合Webサイトからもダウンロードできます。

1 健康診断

対 象 者	・組合員、高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ・上記以外の被保険者は、本年度中に40歳になる方～74歳の方														
実施機関 など	① 健診機関または医療機関（自院で実施しても請求可） ② 宮崎市郡医師会病院 健診センター Ⅰ 平日および土曜日（午前のみ）…予約は直接健診センターへ（☎0985-77-9108） Ⅱ 日曜日健診 …予約は当組合へ（☎0985-22-6588） Webでお申込みください⇒  【日曜日健診専用】 定員各30名 <table border="1"> <tr><td>第1回</td><td>令和6年 10月20日（第3日曜日）</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>11月17日（第3日曜日）</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>12月8日（第2日曜日）</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>令和7年 1月19日（第3日曜日）</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>2月16日（第3日曜日）</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>3月2日（第1日曜日）</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>3月16日（第3日曜日）</td></tr> </table> 日曜日健診のオプション検査 （人数制限あり/予約先着順） ・胃内視鏡検査 ・低線量ヘリカルCT肺がん検診 ・マンモグラフィ検査 ※子宮頸がん検診、大腸内視鏡検査は平日の健診のみで実施	第1回	令和6年 10月20日（第3日曜日）	第2回	11月17日（第3日曜日）	第3回	12月8日（第2日曜日）	第4回	令和7年 1月19日（第3日曜日）	第5回	2月16日（第3日曜日）	第6回	3月2日（第1日曜日）	第7回	3月16日（第3日曜日）
第1回	令和6年 10月20日（第3日曜日）														
第2回	11月17日（第3日曜日）														
第3回	12月8日（第2日曜日）														
第4回	令和7年 1月19日（第3日曜日）														
第5回	2月16日（第3日曜日）														
第6回	3月2日（第1日曜日）														
第7回	3月16日（第3日曜日）														



2 胃・大腸内視鏡検査の補助

対 象 者	・組合員、高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ・上記以外の被保険者は、本年度中に40歳になる方～74歳の方
補助金額	・胃内視鏡検査 15,130円/人 ・大腸内視鏡検査 22,280円/人 ※1人1回、上記金額を上限とした実費

3 低線量ヘリカルCT肺がん検診（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
実施機関	当組合の委託医療機関 ※詳細は申請書裏面または当組合Webサイト参照
受診方法	① 医療機関へ受診の予約をしてください。 ② 検診当日は、受診券兼請求書を医療機関へご持参ください。

4 脳ドックなどの補助

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
補助金額	頭部MRI, 頭部MRA, 頭部CTなど 20,000円/人 ※1人1回, 上記金額を上限とした実費

5 肺炎球菌ワクチンの接種補助

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
補助金額	5,000円/人 ※過去5年以内に補助を受けた方は対象外 ※支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担

6 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助

対 象 者	・女性組合員全員 ・上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる女性
実施機関	※下記の実施機関にて、健康診断のオプションとして実施した場合のみ補助対象 ・宮崎市郡医師会病院 健診センター（☎0985-77-9108）⇒月～金曜日実施 ・都城健康サービスセンター（☎0986-36-8700）⇒火・木・金曜日実施
補助金額	自己負担金（1,000円/人）を除いた額

7 歯科健康診査（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員歯科医院
健診内容	※ いずれかのコースを選択 Aコース 歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング Bコース 歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング＋フッ素塗布
申込・ 受診方法	申込書を組合宛にFAXまたはメールしてください。無料券などを人数分送付します。

8 インフルエンザワクチンの接種補助

対 象 者	被保険者全員並びに高齢組合員
補助金額	2,000円/人（高齢組合員は1,000円/人） ※年度内に1名につき1回の補助

各種手続きについては、Webサイトをご確認いただくか、当組合までお問い合わせください。

宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
☎ 0985-22-6588 FAX 0985-27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



【当組合Webサイト】

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

**令和6年4月2日(火) 第1回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 資金の運用について(再協議)**

令和6年4月3日に満期を迎える資産4件について、利率変更による再協議を行い引き続き定期預金に預け入れることが承認された。

2. 献血に係る協賛依頼について

献血推進のためのキャンペーンで、献血協力者へ配布する物品について協賛することが承認された。今後、関係役員で物品選定などを行い後日改めて報告する。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①令和6年度看護進路相談会の名義後援について

→看護職を希望する中高生と保護者向けの進路相談会で、名義後援をすることが承認された。

4. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県准看護師試験委員の推薦について
→准看護師試験の可否判断や行政処分の審議を行う委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き赤須常任理事を推薦することが承認された。

5. 「日本医師会認定産業医制度研修会」の共催のお願いについて

令和6年度に宮崎産業保健総合支援センターが開催する36の研修会について共催

することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4月1日現在の会員数について
3. 3/31(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議について
4. 3/31(日)(日医)日医臨時代議員会について
5. 3/30(土)(東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会について
6. 3/27(水)(県防災庁舎)県母子保健運営協議会について
7. 3/28(木)(県医)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会について
8. 3/29(金)(県医)県医医学会役員会について
9. 3/27(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
10. 3/27(水)(県医)県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会について

令和6年4月9日(火) 第1回全理事協議会**医師会関係
(議決事項)****1. 5/21(火)、6/15(土)県医師会代議員会及び総会等について**

代議員会及び総会のスケジュール案が承認された。なお、総会についてはコロナ禍前に戻し来賓や表彰者を招待することとした。

2. 7/12(金)(長崎)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について

九州各県の医師会長及び医療行政のトップが一堂に会する合同会議で、河野会長が出席すること及び提出議題の取扱いについては河野会長に一任することが承認された。

3. 業務委託について

①令和6年度医療労務管理支援事業の委託契約について

→医療従事者の勤務環境改善に取り組む医療機関に対し労務環境全般にわたる支援等を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

②令和6年度県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について

→各県立学校の1年生（県立中等教育学校は1年生と4年生）を対象とした心臓検診業務で、前年と同額の生徒1人当たり2,310円（税込）の検査料で委託契約を締結することが承認された。

③令和6年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断の委託契約について

→学校健診の問診等で、学校医が結核健診の実施が必要と認めた場合に実施される検査業務で、委託契約を締結することが承認された。

4. 5/9(木)医師の働き方改革Web研修会の開催について

今年度から施行された医師の働き方改革に関するWeb研修会を開催することが承認された。

5. 6/5(水)（日医）全国医師会産業医部会連絡協議会の開催について

全国の産業医部会等のネットワーク化と認定産業医支援事業の充実・強化を図ることを目的に開催される協議会で、吉見常任理事が出席することと各郡市医師会に案内することが承認された。

6. 6/9(日)（日医）日本医師会シンポジウム「次世代の災害医療」及び災害医療担当理事連絡協議会について

わが国の災害への向き合い方について広く国民的な議論を促すことを目的に開催されるシンポジウムで、田畑理事が出席することと各郡市医師会に案内することが承認された。

（報告事項）

1. 4/6(土)（長崎）九医連常任委員会について
2. 4/7(日)（宮観ホテル）JAみやざき設立記念祝賀会について
3. 4/7(日)（日医）日医学校保健講習会について
4. 第55回全国学校保健・学校医大会の開催について（日医会長より）

5. 4/3(水)（県医）医家芸術展世話人会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 5/25(土)（JA-AZMホール）定期大会代議員名簿提出について

自由民主党宮崎県医療会支部長として河野委員長及び支部選出の代議員として山村常任執行委員他7名の名簿を提出することが承認された。

2. 県連表彰者の推薦依頼について

党籍20年以上で支部組織の拡張等に貢献した方を対象とする表彰で、年齢が高い順に10名を選定し推薦することが承認された。

3. 6/15(土)（県医）県医師連盟執行委員会について

主な議題等が説明され開催することが承認された。

令和6年4月23日(火) 第2回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 会費減免申請について

疾病による日医及び県医会費減免の新規1名、高齢による日医会費減免の新規1名の申請が承認された。

2. 台湾東部地震への医療支援について

4月3日に発生した台湾東部沖を震源とする地震による被害について、日本医師会を通じて台湾医師会に対し支援を行うため、本会から30万円の支援金を送付すること、並びに郡市医師会へ周知を行うと共にFAXニュースで会員へ支援依頼を行うことが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①令和6年度全国学校保健・安全研究大会
宮崎県実行委員会にかかる役員・委員の委嘱並びに設立総会及び宮崎県第1回実行委員会の開催について
→本県で開催する全国学校保健・安全研

究大会にかかる実行委員会委員の委嘱依頼があり、河野会長と学校保健担当副会長の小牧副会長が委嘱を受けること、並びに5月8日の第1回実行委員会に出席することが承認された。

②第74回“社会を明るくする運動”宮崎県推進委員会委員への就任及び同推進委員会への出席について

→犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと等に取り組む委員会で、河野会長が就任することが承認された。

4. 業務委託について

①令和6年度風しん抗体検査事業に係る業務の委託契約について

→県民（宮崎市民を除く）で妊娠を希望する女性とそのパートナーを対象に抗体検査を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。ただし、今年は風疹の流行が予想されるため、HI法ではなくEIA法などIgG抗体を選択的に測定できる方法を推奨するよう、県へ提言することとなった。

②令和6年度認知症地域医療支援事業に係る業務の委託契約について

→認知症サポート医、かかりつけ医、医療従事者に対する研修会の開催や、患者や家族が気軽に相談できる体制整備を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③令和6年度緩和ケア研修事業に係る業務の委託契約について

→緩和医療に携わる医療従事者を対象に、緩和ケア全般にかかわる内容や地域連携、在宅緩和ケアの内容を取り入れた研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

④令和6年度発達障がい早期診断支援事業に係る業務の委託契約について

→発達障害の早期診断・早期発見を図ることを目的に国が行う研修への医師派遣や地域の小児科医に対する研修会を

開催する事業で、契約を締結することが承認された。

⑤令和6年度小児在宅医療を担う人材の養成等に関する業務の委託契約について

→医療的ケア児等が地域で安心して暮らすことを目的に、小児在宅医療を担う人材を養成する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

⑥令和6年度災害時リハビリテーション機能強化事業に係る業務の委託契約について

→JMATやJRAT（災害リハビリテーション支援チーム）に対し、多職種連携の推進や災害時対応手法に関する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

5. 6/15(土)県医師会代議員会及び総会等について（再協議）

代議員会及び総会のスケジュール案を変更することが承認された。

6. 令和6年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰候補者の推薦について

学校保健等の普及と充実に功績があった方を対象に行われる表彰で、各郡市医師会から推薦された中から、2名を推薦することが承認された。

7. 都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会の開催について

医療機関等からの廃棄物の処理に関する協議を行うための協議会で、総務担当理事である市来常任理事が出席することが承認された。

8. 予防接種後健康状況調査事業の実施機関の推薦について

DPT-IPV-Hib及び新型コロナウイルスワクチンが調査対象ワクチンに追加されることになり、県小児科医会と県内科医会に選定を依頼することが承認された。

9. 母体保護法指定医の指定申請について

指定医の更新48名、新規指定1名の申請を母体保護法指定医師審査委員会の答申通り指定することが承認された。

10. 県医師会母体保護法指定医師審査基準について

日本医師会における母体保護法指定医師指定基準モデルの一部改正に伴い、母体保護法指定医師審査委員会の答申通り本会の基準も変更することが承認された。

11. 5・6月の行事予定について
(報告事項)

1. 4/16(火) (日医) 日医理事会等について
2. 4/17(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
3. 4/10(水)・19(金) (県医) 広報委員会について
4. 4/20(土) (宮観ホテル) 宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会について
5. 4/11(木) 日医医療経営検討委員会について
6. 4/18(木) (県医) 病院部会・医療法人部会合同理事会について
7. 4/15(月) (県医) 九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の指導計画等打合せについて

8. 4/17(水) (県医) 県医師会母体保護法指定医師審査委員会について

9. 4/13(土) 日医未来医師会ビジョン委員会について

10. 4/22(月) (県医) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

11. 4/18(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/25(土) (宮崎市民文化ホール) 「公明党みやざき防災セミナー2024」開催のご案内について

国民の防災意識を向上させることを目的に開催されるセミナーで、出席を希望する場合は、事務局を通して河野委員長に申し出ることが承認された。

(報告事項)

1. 4/21(日) (東京) 日本医師連盟医政活動研究会について

5月のベストセラー (宮崎県)

集計：2024年5月1日～5月22日

1 成瀬は天下を取りにいく	宮 島 未 奈	新 潮 社
2 俺たちの箱根駅伝 (上) (下)	池 井 戸 潤	文 藝 春 秋
3 変な家 2	雨 穴	飛 鳥 新 社
4 心に効く美容	M E G U M I	講 談 社
5 白鳥とコウモリ (上) (下)	東 野 圭 吾	幻 冬 舎 文 庫
6 糖質疲労	山 田 悟	サンマーク出版
7 成瀬は信じた道をいく	宮 島 未 奈	新 潮 社
8 変な家	雨 穴	飛 鳥 新 社
9 とにかく仕組み化	安 藤 広 大	ダイヤモンド社
10 水車小屋のネネ	津 村 記 久 子	毎日新聞出版

県 医 の 動 き

(5月)

7	医協理事会（河野理事長他） 第2回常任理事協議会（会長他）
8	全国学校保健・安全研究大会宮崎県第1回実行委員会（会長）
9	県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本常任理事他） 医師の働き方改革Web研修会（Web会議） （池井常任理事）
10	日医年金委員会（Web会議）（会長） 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州 ブロック会議打合せ会（荒木常任理事他）
11	日医シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の 挑戦”」（Web会議）（大塚常任理事） 県内科医会総会・学術講演会（Web会議） （玉置理事）
12	（東京）全国有床診療所協議会理事会・臨時社員 総会・有床診療所医師連盟執行委員会（会長）
13	県認知症疾患医療センター合同会議（Web会議） （石川常任理事） 産業医部会理事会（Web会議） （大塚常任理事他） 広報委員会（荒木常任理事他） 県医師会令和6年度診療報酬改定WEB説明会 （Web会議）（会長他）
14	第3回全理事協議会（Web会議）（会長他）
15	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理 事会（Web会議）（石川常任理事） 支払基金審査運営協議会（会長） 地域医療現場における働きやすい環境を考 える会（荒木常任理事）
16	宮大医学部医の倫理委員会（大塚常任理事） 医協会計監査（河野理事長他）
17	都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 （Web会議）（荒木常任理事他）
18	産業医部会総会・研修会（TV会議）（会長他） 宮崎市郡医師会病院創立40周年記念式典（会長）
19	宮崎大学白菊会50周年記念総会（小牧副会長） （福岡）レジナビフェア福岡（金丸常任理事） 県小児科医会総会・春季学術講演会 （高木常任理事）

20	広報委員会（荒木常任理事他）
21	第4回全理事協議会（会長他） 日医監事会（Web会議）（会長） 日医理事打合せ（Web会議）（会長） 日医理事会（Web会議）（会長） 第1回理事会（会長他） 県医臨時代議員会（会長他）
23	（福岡）九州地方社会保険医療協議会総会 （荒木常任理事） 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 （池井常任理事） 県糖尿病対策推進会議小幹事会（金丸常任理事）
24	県医監事監査（会長他） 認知症サポート医・かかりつけ医スキルア ップ研修会（Web会議）（石川常任理事）
25	（長崎）九医連常任委員・次期会長合同会議 （Web会議）（会長） （長崎）九医連常任委員・次期日医代議員協 議会（会長他） （長崎）九州ブロック日医代議員（含・次期） 連絡会議（会長他）
27	県医療審議会（会長他） 在宅医療研修会企画小委員会（Web会議） （石川常任理事）
28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 医協理事会（河野理事長他） 日産婦学会専門医制度宮崎地方委員会 （上山理事） 宮大医学部認定再生等委員会（大塚常任理事）
29	県医療的ケア運営協議会（高木常任理事） 県保険者協議会（山村副会長他） 労災診療指導委員会・労災部会理事会 （赤須常任理事他） 都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議 会（Web会議）（市来常任理事） 県警察医会協議会（Web会議）（玉置理事）
30	県内科医会会誌編集委員会（玉置理事）
31	県移植推進財団定例理事会（小牧副会長）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和6年5月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	1	2
産 婦 人 科	1	0	1
検 診	2	0	2
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 97人

	合 計
令和6年度(4/1～5/1)	0
平成16年度から累計	97

3. 求人登録 101件 286人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	92	68	24	消 化 器 外 科	4	3	1
外 科	22	19	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	20	17	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	14	11	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	5	5	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	0	0	0
総 合 診 療 科 ・ 内 科	11	7	4	診 療 科 目 不 問	5	2	3
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	4	3	1	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	286	219	67

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和6年5月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡（1,348.18坪） 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡（250.20坪） ※駐車場あり（70台）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡（501.38坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）	所有者：（医）社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡（265.15坪） 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡（34.54坪） ※駐車場あり（20台）	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地（宮崎県医師協同組合）

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

T E L： F A X：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年5月30日

6			月		
1	土	12:30 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会 (Web会議) 14:00 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会総会・全体研修会 (Web会議)	15	土	15:15 県医連執行委員会 15:50 県医定例代議員会 16:15 第3回理事会 16:30 県医臨時代議員会 17:00 県医総会
2	日	13:00 (東京) 松本吉郎日医会長選挙 対策本部事務所開き	16	日	11:00 (東京) レジナビフェア東京
3	月	18:30 県アイバンク協会理事会 (Web会議)	17	月	14:00 県移植推進財団定時評議員会
4	火	14:30 県学校保健会理事・評議員会 第2回理事会 19:00 終了後 第5回全理事協議会	18	火	10:00 (日医) 日医監事会 11:00 (日医) 日医勉強会 13:00 (日医) 日医理事打合せ 14:00 (日医) 日医理事会 19:00 県整形外科医会理事会 (Web会議)
5	水	13:00 全国医師会産業医部会連絡協議 会 (Web会議) 16:00 (日医) 日医医療秘書認定試験 委員会	19	水	13:30 宮大経営協議会
			20	木	
6	木	10:00 県デジタル社会推進協議会 13:30 都道府県医師会社会保険担当理 事連絡協議会 (Web会議) 14:00 宮大医学部医の倫理委員会 19:00 学校医部会理事・評議員会 (Web会議) 19:00 日産婦医会性教育指導セミナー 全国大会実行委員会 (Web会議)	21	金	18:00 (東京) 九州ブロック (次 期) 日医代議員連絡会議 19:00 医師会国保組合定例事務監査
			22	土	9:00 (日医) 九州ブロック日医 代議員連絡会議 (日医) 日医定例代議員会
7	金	17:30 宮大医学部生対象マッチング登 録説明会 & 県内基幹型臨床研修 病院合同説明会	23	日	9:00 (日医) 九州ブロック日 医代議員連絡会議 9:30 (日医) 日医臨時代議員会 12:00 県産婦人科医会J-CIMELS 講習会
8	土	8:30 (静岡) 日本プライマリ・ケア 連合学会学術大会 9:00 医療メディエーター研修会 (基礎編)	24	月	19:00 在宅医療協議会役員会 (Web会議) 19:00 広報委員会
9	日	8:15 (静岡) 日本プライマリ・ケア 連合学会学術大会 9:00 医療メディエーター研修会 (基礎編) 10:00 (日医) 日本医師会シンポジウ ム「次世代の災害医療」及び災 害医療担当理事連絡協議会	25	火	18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会 18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同 協議会 終了後 第6回全理事協議会
10	月	19:00 広報委員会			
11	火	19:00 第3回常任理事協議会			
12	水	13:00 都道府県医師会医療関係者担当 理事連絡協議会 (Web会議) 16:00 支払基金審査運営協議会	26	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会 理事会 18:30 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会
13	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	27	木	
14	金		28	金	
15	土	14:30 医協通常総代会 15:05 医協理事会	29	土	15:30 全国有床診療所協議会九州プロ ック役員会 (Web会議) 16:00 死体検案研修会
			30	日	

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年5月30日

7 月				
1	月	19:00	園医部会理事会	15 月 (海の日)
2	火	13:30 19:00	県地方独立行政法人評価委員会 第4回常任理事協議会	16 火 19:00 第4回全理事協議会 (Web会議)
3	水			17 水 16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会
4	木	18:30 19:00	県循環器病対策推進協議会 医師国保組合理事会	18 木 19:00 医師国保組合通常組合会
5	金			19 金 19:00 県有床診療所協議会役員会 (Web会議) ↑
6	土	14:30	(熊本)九州地区医師会共同利用施設連絡協議会	20 土 14:30 産業医研修会 (実地)
		15:00	県外科医会理事会 (Web会議)	21 日
		15:00	県整形外科医会評議員会	22 月 19:00 広報委員会
		15:20	県整形外科医会総会	23 火 15:10 (日医)日医連執行委員会 17:00 (日医)日医役員就任披露パーティ ↑ ↓
		15:30	県外科医会総会 (Web会議)	24 水
7	日	9:00	(熊本)九州地区医師会共同利用施設連絡協議会	25 木 9:00 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 ↓
8	月			26 金
9	火	10:00 16:00	県総合計画審議会 (日医)日医連執行委員会	27 土
10	水	15:00	(延岡市)全国学校保健・学校医大会特別講演打合せ会	28 日 9:00 (奈良)日産婦医会性教育指導セミナー全国大会 ↓
11	木	19:00	県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	29 月
12	金			30 火 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第8回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会
13	土	16:00	県専門研修プログラム合同説明会 (熊本)九医連常任委員会 (熊本)九州医連連絡会常任執行委員会	31 水 15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会
14	日			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和6年度糖尿病 性腎症重症化予防 研修会 (Web講習会) 6月6日(木) 19:00～20:40 南那珂医師会館 ※受講は現地また はWeb	管内における糖尿病性腎症重症化予防の現状と課題 戸倉医院 院長 戸倉 健	13 (0.5)	◇主催 ※宮崎県日南保健所 ☎0987-23-3141 ◇共催 南那珂医師会
	南那珂地域で活かすCKD診療ガイドライン2023 県立日南病院 臨床工学科 主任部長 兼 内科部長 松本 充峰	73 (1.0)	
第27回宮崎NST研 究会 6月8日(土) 15:00～18:30 宮日会館11階ホール	高齢者の栄養管理と食思不振対策 愛知医科大学 栄養治療支援センター 特任教授 前田 圭介	22 (1.5)	◇主催 宮崎NST研究会 ◇共催 ※(株)大塚製薬工場 ☎090-9770-3355
第90回宮崎県精神 科医会懇話会 6月8日(土) 17:30～19:00 アートホテル宮崎 スカイタワー3階	自殺予防のためのうつ病・精神障害の発見と支援 島根大学医学部 精神医学講座 教授 稲垣 正俊	70 (1.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 ヴィアトリス製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 6月12日(水) 19:00～20:30 ホテルベルフォート日向 ※受講は現地またはWeb	大動脈弁狭窄症におけるカテーテル治療の実際と今後の展望 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 副部長 門岡 浩介 ----- 不整脈を考える～ガイドライン改訂を踏まえて～ 県立延岡病院 循環器内科 医長 伊藤 美和	12 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市・東臼杵郡薬剤師会 第一三共(株) エドワーズライフサイエンス(同)
第21回宮崎小児感染症研究会 (Web講習会) 6月13日(木) 18:25～20:00 MRT micc 3階 「エメラルドホール」 ※受講は現地またはWeb	ポストコロナにおける小児呼吸器感染症の診療 川崎医科大学 臨床感染症学教室 主任教授 大石 智洋	8 (1.0)	◇主催 宮崎小児感染症研究会 ◇共催 ※Meiji Seikaファルマ(株) ☎0985-25-6215
第18回宮崎心臓リハビリテーションセミナー (Web講習会) 6月17日(月) 18:45～20:20 KITENビル大会議室 ※受講は現地またはWeb	徳島県民の健康寿命の延伸と循環器病による死亡率の低下に向けての取り組み ～心疾患地域連携ネットワークと心臓リハビリテーション～ 徳島大学医歯薬学研究部 循環器内科学分野 教授 佐田 政隆 他	12 (1.5)	◇主催 宮崎心臓リハビリテーション研究会 ◇共催 トーアエイヨー(株) (株)アステム (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
第185回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 6月18日(火) 19:00～20:10 KITENビル8階 中会議室 ※受講は現地またはWeb	心不全合併腎性貧血を考える ～HIF-PH阻害薬への期待も含めて～ 京都府立医科大学 医学研究科 循環器内科・腎臓内科学 教授 的場 聖明	73 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 協和キリン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 6月19日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 6月20日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	新たな化学物質規制体制 ～事業者による化学物質の自律的管理について～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 6月20日(木) 19:00～20:00 KITTO小林 ※受講は現地また はWeb	心不全診療における腎性貧血へのアプローチ 桑原記念病院 院長 桑原 大門	73 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-22-1331 ◇共催 西諸内科医会 協和キリン(株)
令和6年度心臓検 診一次検討会 (後期) 6月21日(金) 19:00～21:30 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	43 (2.5)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第88回宮崎整形外科懇話会 6月22日(土) 17:30～18:30 宮崎大学医学部臨床研究棟205教室 参加費:1,000円	Orthoplastic Hand Surgeryを目指して 重工記念長崎病院 形成外科 部長 田中 克己	57 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会 6月25日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	第14次労働災害防止計画の概要と重要ポイント 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の更新研修会:2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第35回宮崎心エコー研究会 (Web講習会) 6月26日(水) 18:45～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	身体所見と心エコー図 竜操整形外科病院 内科部長 林田 晃寛 他	9 (1.0)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 6月27日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	両立支援の実際(がんを中心に) 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会:2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度宮崎県 医師会死体検案研 修会 6月29日(土) 16:00～18:00 宮崎県医師会館	死体検案書の書き方(仮) 宮崎大学医学部 社会医学講座 法医学分野 教授 湯川 修弘 他	6 (2.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 ※宮崎県警察医会 ☎0985-22-5118
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講習会) 6月29日(土) 19:00～20:30 KITENビル8階コ ンベンションホール ※受講は現地また はWeb	ドボベツト®フォームの薬理学的特性がもたらす有用性 について 東京逋信病院 皮膚科 部長 三井 浩 ----- 神経線維腫症Ⅰ型: More than skin deep 鳥取大学医学部 皮膚科学分野 教授 吉田 雄一	15 (0.5) 0 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 レオ ファーマ(株) ※協和キリン(株) ☎0985-22-8801
宮崎県医師会産業 医研修会 7月5日(金) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	化学物質関連の法改正について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 田中 伸明 生涯研修の更新研修: 2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度心臓検 診二次検討会 (後期) 7月5日(金) 19:00～22:00 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	44 (3.0)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度宮崎県 外科医会・宮崎県 整形外科医会・宮 崎県医師会労災部 会合同学会 (Web講習会) 7月6日(土) 17:00～18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	県北における労働災害について 県立延岡病院 整形外科 主任部長 栗原 典近	14 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会
第186回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 7月8日(月) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	ステージ別に考える心不全最新治療 富山大学学術研究部 医学系内科学 (第二) 教授 絹川 弘一郎	73 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業 医研修会 7月10日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	化学物質関連の法改正について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 田中 伸明 生涯研修の更新研修: 2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月17日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	早期離職を防ぎ新人が輝く新規入職者に対する研修の ポイント 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会: 2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 7月19日(金) 19:00～20:10 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地またはWeb	新生児マスクリーニング検査の現状と課題 ～実証事業が始まって～ 熊本大学生命科学研究部 小児科学講座 教授 中村 公俊	72 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 BioMarin Pharmaceutical Japan(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会産業医研修会 7月19日(金) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医師会館	新たな化学物質規制体制 ～事業者による化学物質の自律的管理について～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 7月23日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	早期離職を防ぎ新人が輝く新規入職者に対する研修のポイント 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第2回宮崎骨粗鬆症研究会 (Web講習会) 7月24日(水) 19:00～20:30 アートホテル宮崎スカイタワー ※受講は現地またはWeb	DXA骨密度検査を用いた施設連携 三財病院 院長 松本 英裕 ----- 生活習慣病に忍びよる骨折リスクとその対応 大阪公立大学医学研究科 代謝内分泌病態内科学 准教授 今西 康雄	77 (0.5) 76 (1.0)	◇主催 宮崎骨粗鬆症研究会 ◇共催 ※第一三共(株) ☎090-8002-8559 ◇後援 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月26日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月31日(水) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月5日(月) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	化学物質関連の法改正について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 田中 伸明 生涯研修の更新研修：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月7日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	今日のうつ病の現状と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月9日(金) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	新たな化学物質規制体制 ～事業者による化学物質の自律的管理について～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月21日(水) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	職場でみられるうつ病とその対応 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月21日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウ ハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウ ハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月28日(水) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



遺伝学的検査と遺伝カウンセリング

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 と い こう た ろ う
宮崎大学医学部附属病院 遺伝カウンセリング部 土 井 宏太郎

はじめに

ヒトを含むすべての動植物において、形質・特徴が世代を越えて引き継がれていくことは紀元前からすでに経験的に知られていたとされる。そしてそれが一部の病気や疾患にも関与しているであろうという記述は、遺伝や遺伝子といった概念が確立するより遥か以前、古代の書物においても散見される。1865年にメンデルが提唱した遺伝の法則は、発表当時の世の中には受け入れられずやがて忘れ去られていたが、20世紀に入ったのちに再発見され生物学としての遺伝学確立につながった。更に医学・医療分野においても、染色体・遺伝子・DNAが発見され解明されていく時代に応じて、医学と遺伝学が切っても切れない関係であることが広く認識された。20世紀代後半になると、胎児期や新生児期、小児期に発症する先天性疾患はもとより、成人になってから発症するがん、高血圧、肥満、精神疾患なども遺伝あるいは遺伝子と密接に関係することが明らかになった。臨床遺伝医学の概念が確立し、その需要が高まっていった。

ゲノム医療の発展と遺伝学的検査

近年、遺伝子解析技術と遺伝情報解明の飛躍的進歩により、あらゆる遺伝情報を活用した医療すなわちゲノム医療が発展し、疾患の原因遺伝子の特定・発症メカニズムの解明・治療法の開発など多大な研究成果がもたらされた。臨床医療においては遺伝学的検査が正確・迅速・安価となり、多分野で数多く実施できるようになった。疾患によっては、これまで診断できなかった病態が遺伝学的検査で確定診断に至り、遺伝情報に基づく適切な治療方針を立て劇的な効果が得られたケースも報告された。

一方で分野や疾患によっては、遺伝学的検査の結果やその解釈がいまだ確立していないものも多く残されている。治療につながる遺伝子異

常が見つかる可能性がそれほど高くない場合や、発見された遺伝子異常が対象疾患の原因遺伝子とは断定できない場合もある。原因遺伝子のすべてが特定されていない疾患においては、遺伝学的検査の陰性所見が診断の否定にはならない。遺伝学的検査を行う際には医療者・受験者とも、その検査の意義と限界、結果により起こりうる可能性について正しい理解と情報共有が必須である。

遺伝学的検査と倫理的課題

遺伝学的検査の進歩にともない、これまでに は行われていなかった以下のような診断が技術的には可能となった。

- 1 発症前診断
ある疾患の将来の発症有無を、ほぼ確実に診断すること
 - 2 保因者診断
本人は未発症だが、子や子孫の疾患発症につながる遺伝的特性を有しているか診断すること
 - 3 出生前診断
胎児が遺伝性・先天性疾患を有しているか診断すること
 - 4 着床前診断
受精卵が遺伝性・先天性疾患の原因となる遺伝的特徴を有しているか診断すること
- 一方、臨床の現場においては正確で適切な情報を提供し、患者・家族の健康に貢献することの重要性を認識しつつ、「知る権利」と「知らないでいる権利」それぞれの尊重を要する。しかし、時には「知らないでいる権利」と「知らないままでいることのリスク」に葛藤が生じうる。
- 遺伝学的検査を選択する場合には、医療者も受検者も得られる情報の特性（下記①～⑤）を事前に十分に理解し、倫理的課題に配慮する必要がある。

- ① 不変性
生涯変化しないこと
- ② 共有性
血縁者間で一部共有されていること
- ③ 予測性
発症する前に将来の発症を予測できる場合があること
- ④ 危害性
不適切に扱われた場合には被検者および血縁者に社会的不利益がもたらされる可能性があること
- ⑤ あいまい性
結果の病的意義の判断が変わりうること、病的変異から予測される発症の有無、発症時期や症状、重症度に個人差がありうること、医学・医療の進歩とともに臨床的有用性が変わりうることなど

遺伝学的検査が広く普及していく中で、医療現場においてはこれらの課題へ対応していくことのニーズが高まってきた。すべての医療者が、患者や家族に対して基本的な遺伝情報を提供できることが理想とされている。しかし、実際に現場で直面した遺伝の問題には即座に対応することが難しい場合もある。また、患者や家族に等しく情報提供を行った場合であっても、その理解度には個人差があり、より時間をかけた対応を要することもある。そうした背景から、臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラー®など遺伝の専門家による遺伝カウンセリングが全国的に普及してきた。

遺伝カウンセリング

遺伝カウンセリングは、疾患や分野を問わず遺伝に関わる不安・疑問を持っている患者やそ

の家族を主に対象としている。まず科学的根拠に基づく正確な医学的情報を分かりやすく伝え、理解を得ることから始める。そのうえで患者の悩みや不安・疑問を傾聴し、最終的には自らの力で納得のいく結論を選択し、不安や疑問を解決できるよう自己決定を支援していく。時には心理面や社会面で支援や必要な情報提供を行っている。このような遺伝に関するさまざまな問題に患者本人や家族が直面し遺伝カウンセリングを要する場面は、今後ますます増えていくと予想される。

当院の遺伝カウンセリング部は2003年に発足した。現在に至るまで、紹介の半数以上は周産期分野の遺伝カウンセリングである。近年、少子化や出産年齢の高年化にともない出生前診断の需要は増加している。出生前診断においては、胎児の生命に関する倫理的問題、胎児が疾患を有するかもしれないことへの不安・葛藤などの課題が存在する。当院では、出生前診断希望者全例に遺伝カウンセリングを行い、検査の意味や限界などを夫婦が理解したうえで検査を受けるかどうかを選択してもらっている。自験例では、漠然とした不安により出生前検査を希望した妊婦のうち約3分の1は遺伝カウンセリング受検後に不安が解消し、最終的に出生前検査を行わないことを選択した。

図1で示すように、当院においても遺伝カウンセリング紹介数は年々激増しており、周産期分野のみならず腫瘍・小児疾患・成人疾患と幅広い需要がある。現在は医師2名（いずれも産婦人科兼任）、遺伝カウンセラー2名の体制であるが、今後さらに多診療科の仲間が増えることを切に願う。

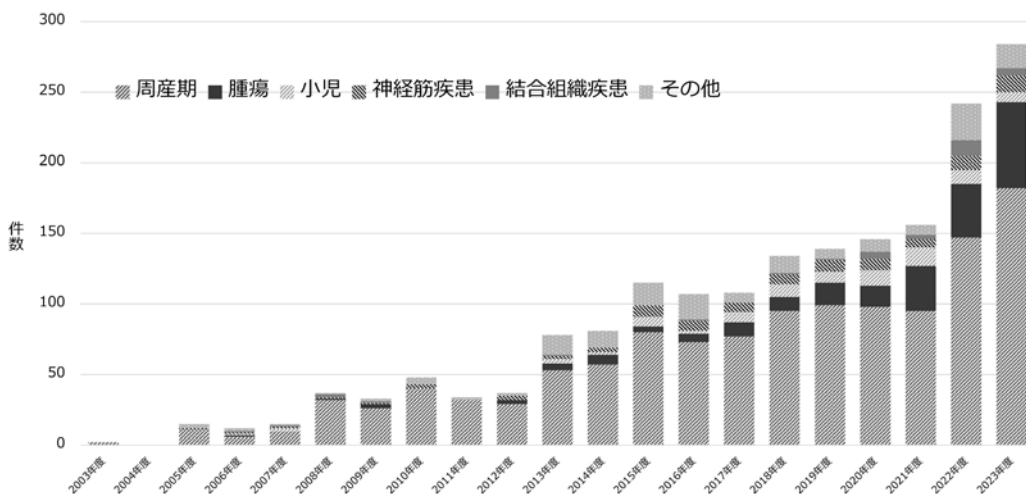


図1 宮崎大学病院 遺伝カウンセリング部 診療実績

宮大医学部学生のページ



令和6年度新歓委員会からご報告

宮崎大学医学部 医学科4年 ^{いわ}岩 ^な名 ^{りん たろう}凛太郎

昨年の5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、制限が緩和されました。これにより、コロナ禍以前の活気が戻りつつあります。今年度は医学科101名、看護学科61名の新生が入学しました。多くの新生が4月6日の新歓オリエンテーション、4月10日のオレンジパーク、4月14日の新歓BBQに参加し、幹部を中心とした在學生で新生を歓迎することができました。簡略ではありますが、今年度の新歓で実施した上記のイベントについて報告させていただきます。

新生にとって最初のイベントである新歓オリエンテーションを行いました。昨年から新型コロナウイルスが流行する前に行っていた形で実施しており、今年はマスク着用の義務もなくなり、さらなる盛り上がりを見せました。講義棟の303教室を利用して、合わせて400人ほどの新生と在學生が集まりました。まず部活動紹介を行いました。30を超える部活動が事前にビラやムービーを準備し、新生に各部活の雰囲気、活動内容や新歓スケジュールをアピールする場となりました。ラグビー部による寸劇、アカペラサークルによる生演奏など、対面ならではのよさを感じました。リサイクル企画では、昨年度の卒業生から譲り受けた家具を50点ほど用意し、新生が気に入った家具を実際に見て、抽選によって当選者を決めるという形を

とりました。座談会企画では、体育館にブルーシートを敷いて、新生と在學生で10人のグループを作って円になり、お弁当を食べながら交流しました。新生ならではの悩みや日常生活についてなど、多岐にわたってさまざまな話をすることができました。在學生と新生とのつながりができる有意義な交流であったと思われます。新歓オリエンテーションの最後には新生自己紹介企画を行いました。新生に前に出てきてもらい、名前、出身地、出身校、中高の部活、気になっている部活、といった質問に答えてもらいました。例年、この企画前に新生が帰ってしまうことが多くあったそうですが、今年はみんな残って自己紹介をしてくれました。みんな緊張した面持ちでしたが、在學生の盛り上げもあり、元気に話してくれました。幹部の支えもあり、オリエンテーション全体として大きなアクシデントもなく、円滑に実施することができたと思います。こうして無事に終わることができたのは、しっかりと引き継いでくださった昨年度の新歓長のおかげだと感じます。また、来年度の新歓も幹部学年の雰囲気に沿ったものにしてくれることと思います。

次にオレンジパークについて報告させていただきます。このイベントはホテル清武で行われ、梅田学園さんと幹部学年に当たる看護学科2年生が協力して、看護学科の新生を歓迎す

るものです。豪華なバイキング形式の食事を取りながら、テーブルごとで会話が弾んでいました。最後には豪華景品をかけて早飲み対決やビンゴ大会を実施し、後ろで見守っている私たちも楽しい雰囲気を感じました。豪華なバイキングや景品を用意してくださった梅田学園さんに感謝申し上げます。

最後に新歓BBQについて報告させていただきます。昨年度と同様に宮崎ドライビングスクールさんに協賛していただき実施することができました。昨年度に続き、今年度も天気恵まれ、青空の下で在学生がお肉を焼いたり、カレーを作ったりし、新入生とそれらを食べながら交流しました。食事後は豪華景品をかけたミニゲームを行い、新入生の楽しそうな表情が見ら

れました。お肉、カレー、景品はすべて宮崎ドライビングスクールさんに用意していただき、大変盛り上がりしました。宮崎ドライビングスクールさんに感謝申し上げます。

今年度の新歓期間は、新歓オリエンテーションが行われた4月6日から4月26日までの約3週間となりました。私は新型コロナウイルスの影響で通常の新歓を経験していなかったため、至らぬ点が多々ありましたが、先輩からのアドバイスや同期の支えのおかげで実施することができたと思います。今後のイベントも幹部中心となって邁進いたしますので、温かい目で見いただければ幸いです。

以上、拙い文章となりましたが、新歓委員からの報告とさせていただきます。



今年度幹部の集合写真



新歓BBQの様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
5月2日	・令和6年能登半島地震に伴い避難先市町村の地域密着型（介護予防）サービス等を利用する場合の手続について（その2） ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第10.1版」の周知について ・令和6年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について ・「医療DX推進フォーラム～使ってイイナ！マイナ保険証～」開催のご案内について ・令和4・5年度医師会共同利用施設検討委員会報告書の送付について ・第37回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」（2024年7月13日～14日）の開催について ・「令和6年度歯と口の健康週間」について
5月7日	・疑義解釈資料の送付について（その3） ・「労災保険における訪問看護の取扱いについて」の一部改正について ・地方厚生（支）局を通じたマイナ保険証利用促進について（協力依頼） ・学校教育活動等における熱中症事故の防止について（周知依頼）
5月10日	・宮崎県食材料費高騰対策緊急支援金の支給・申請について（案内） ・愛の予防接種助成事業補助金交付要綱（風しんワクチン及びMRワクチン）の改正について（通知） ・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の廃止について（周知） ・診療所における新興感染症対策研修の動画・資料公開について ・「令和6年能登半島地震を受け、福祉避難所として開設された介護保険施設等の使用料等の取扱いに関するQ&Aについて」の一部更新について（その2） ・指定居宅介護支援事業者が市町村長からの指定を受けて介護予防支援を実施する場合の留意事項について（情報提供） ・公益通報者保護法第11条第1項及び第2項の規定による公益通報窓口設置等の周知について

送付日	文 書 名
5月10日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・JMAT携行医薬品リストおよび資器材リストの更新について ・令和6年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について
5月14日	・令和6年度のデータ提出加算（A245）及び外来データ提出加算等に係る説明会について ・令和6年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・レブリキズマブ（遺伝子組換え）製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和6年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストの一部訂正について ・特定健診集合契約のある健診機関に対するアンケートの実施について ・令和6年度（第58回）臨床検査精度管理調査の実施について ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分終了及び所有権の移転について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・令和6年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の協力依頼について ・「病原微生物検出情報」の送付について
5月17日	・診療報酬オンラインセミナーの開催について ・ワクチン生産体制等緊急整備事業に基づく実証的な研究への協力依頼について ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その9） ・「使用上の注意」の改訂について ・疑義解釈資料の送付について（その4） ・労災診療費算定基準の改定及びアフターケア実施要領の改正について ・CKDシールの活用について（依頼） ・令和6年度特定医療費（指定難病）受給者証の更新について（依頼） ・NIPTの臨床研究における課題と対応（見解）について ・バイオ後続品におけるコンパニオン診断薬等の取扱いについて ・令和6年度職場の「健康経営」応援事業の実施について（依頼） ・再就業講習会事業 新企画「地域における女性医師等支援のための会」開催について

送付日	文 書 名
5月21日	・令和6年度版「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～医療機関・事業者向け～」について ・「災害時のトリアージを理解しよう」特設サイトの公開について（第29回日本災害医学会 総会・学術集会 市民公開講座） ・サリドマイド製剤，レナリドミド製剤及びポマリドミド製剤の使用に当たっての安全確保の徹底について（男性患者における服用中止後の避妊の徹底について） ・風しんの第5期の定期接種に係る委託料の改定について
5月24日	・令和6年度診療報酬改定で新設されたベースアップ評価料に係る届出について ・疑義解釈資料の送付について（その5） ・保険医及び保険薬剤師の登録に係る取扱いに関する疑義解釈資料の送付について ・令和6年度におけるデータ提出加算（A245）及び外来データ提出加算等の取扱いについて ・令和6年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・小児慢性特定疾病医療支援の更新に係る留意点について（依頼） ・学校医活動の充実のための方策に関するアンケート調査の実施について（転送依頼） ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第38条第2項の規定等に基づく第一種協定指定医療機関及び第二種協定指定医療機関の指定について ・第9期介護保険事業計画期間における介護保険の第1号保険料及びサービス見込み量等について ・ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）に係る「使用上の注意」の改訂について ・経済産業省による令和5年度補正予算 省エネ補助金の2次公募期間等について（情報提供） ・医療用麻薬適正使用ガイダンスの改訂等について ・令和6年度「団体経由産業保健活動推進助成金」の実施について
5月28日	・ベースアップ評価料と医療DX推進体制整備加算の届出について ・令和6年度薬価改定を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて ・生活習慣病管理料に関する療養計画書（運動領域）参考資料の送付について ・検査料の点数の取扱いについて ・令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その6） ・介護現場における賃上げ促進税制の活用に係るリーフレットについて

送付日	文 書 名
5月28日	・医療用機器等の特別償却制度の延長等のためのアンケート調査の実施について ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・オマリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（季節性アレルギー性鼻炎）の一部改正について ・令和6年度シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」について（御礼） ・令和6年度宮崎県保健指導実施者初任者研修会の開催について（通知） ・黄熱の予防接種実施機関の指定について

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。
医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の9時から18時、土曜日9時から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



た。チャペルでの挙式開始。長男の入場です。いろんなことが思い出され、すぐに涙が込み上げてきました。それどころか、嗚咽が漏れるほどでした。親族代表スピーチの大役が待っています。28年前の私の結婚式で、中華の調理師で挨拶などしたことなかった亡き父が「康行たちはわっかもんですから、よろしく願ひします」と立派な挨拶をしてくれたのを思い出します。実際のスピーチでは、前もって考えていたことがすっ飛び、長男の話をするときには込み上げて、涙声になってしまいました。感極まった私を見て妻は「直球しか投げれんもんね」と笑ってくれました。打たれてへこむときがよくあります。これからの人生、辛いこと、楽しいことあるでしょうが、思い出として経験していきたいです。思い出は引き継がれるもの。いつか子どもたちが「お父さん、号泣していたよね」と笑ってくれればいいなあと思っています。不器用ですが、正直に、素直に、皆さんに助けてもらいながら生きていきたいです。今後ともよろしくお願いします。（石田）

* * * * *

暖かい季節になってきましたが、RSやヒトメタニューモウイルスによる乳幼児の呼吸器感染症が増えています。これらの感染症は成人だと軽い症状だという認識でしたが、患児の保護者も発熱・しつこい咳嗽でつらいと聞くことが目立つ印象です。咳エチケットや手指消毒を継続して、院内や家庭内感染の予防にも気をつけたいと思います。（横山）

* * *

職場の上司から勧められて、広報委員に今回初めて就任させていただきました。今回編集会議に参加して校正も担当し、「日州医事」の原稿を丹念に読む機会を得ました。これまで流し読みしていた記事も興味深い内容が含まれていたりして、あらためて本誌の価値を再認識したところです。これからは広報委員として、また一読者として「日州医事」の普及に努めたいと思います。よろしくお願いします。（高橋）

* * *

このたび、宮崎県医師会広報委員会の学生委員を務めさせていただくことになりました。宮崎大学医学部医学科4年の家村和奈と申します。校正の仕事は初めてで緊張もありますが、委員会は先生方のお話を聞ける貴重な機会でもあり、このような役割をいただけて大変嬉しく思っております。前回の委員会では先生方の近況もお聞きすることができ、大変興味深かったです。至らない点もあるかと存じますが精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いします。（家村）

人生には数々の節目があります。昨日は長男の結婚式でした。ついこの間、こんな人と結婚させてもらっているのか、こんな自分が父親になっていいのかと考えたことを思い出します。知人より、結婚式では感情の扉を開けて臨んでくださいとの言葉をいただきました。素直に自分がどういう状態になるのか楽しみでした。

今年度も前年度に引き続き、学生委員として日州医事の編集に携わらせていただきます。至らない点が多々ありながらも、幾分か仕事に慣れてまいりました。私以外の委員の皆様のお話を伺うのも大変勉強になりますが、加えてクリクラで回ってお世話していただいた宮医大の先生の記事を読むことも、校正の仕事を行うにあたっての楽しみとなっております。時に実習中に、日州医事に携わってる？と聞かれることもあり、たくさんの先生方に読まれていることを実感しています。今年度もよろしくお願いいたします。（境）

* * *

4月より広報委員を務めております。1998年に母校である宮崎医科大学の第1外科学教室に入局し、2015年から宮崎医療センター病院で肝胆膵領域を中心に消化器疾患に携わっております。外科の先輩の依頼を役割を知らぬまま了承し、仕事内容を聞いてほんの一瞬後悔いたしましたが、せっかくですので前向きに楽しく取り組みたいと思います。熱しやすく冷めやすい性格で、至らぬ点多々ございますが、よろしくお願い申し上げます。（永野）

* * *

ベースアップ評価料の届出書の作成には悪戦苦闘しました。さらにこの後、実績報告書の提出が義務付けられています。確実に賃上げにつなげるとの意図は理解できるのですが。次回の診療報酬改定では、こうした煩雑な手続きなしで保険点数が上がることを望みます。（佐々木）

今月のトピックス

会長のページ 新研修医に期待する

河野雅行会長による県内の初期臨床研修医への「オールみやざき」での取り組みの報告です。今後も減少が続くようであれば地域枠や奨学金制度の拡充などの更に積極的な取り組みを提言されております。 3 ページ

日州医談 健康運動看護師（健康スポーツナース）について

河原勝博理事に「健康スポーツナース」について解説いただいております。スポーツが盛んな本県にピッタリな資格であると思いました。 4 ページ

退任挨拶・就任挨拶

石田康先生、竹島秀雄先生、お疲れさまでした。今後ともよろしく願いいたします。また、佐藤勇一郎先生、今後ともご活躍を祈念いたします。 6 ページ

寄稿 宮崎看護専門学校の課程変更について

白尾一定先生に宮崎看護専門学校の課程変更について解説いただいております。看護師も修養する知識・技術が増えているでしょうから大変かと思われそうですが、現状に即して必要な人材を教育いただいております。 18 ページ

宮大医学部学生のページ 令和6年度新歓委員会からご報告

医学科4年生の岩名凜太郎さんより、令和6年度新歓委員会の活動の紹介です。後輩を迎え入れる先輩方の優しい歓待について楽しそうな様子が伺えます。 72 ページ

(文責：菊池 英維)

日 州 医 事 第898号 (令和6年6月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編集 宮崎県医師会広報委員会

委員長 菊池 英維

副委員長 石田 康行

委員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学生委員 金城 由歩, 境 笙太郎, 家村 和奈, 宮本貴由樹

担当副会長 山村 善教

担当理事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事務局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)